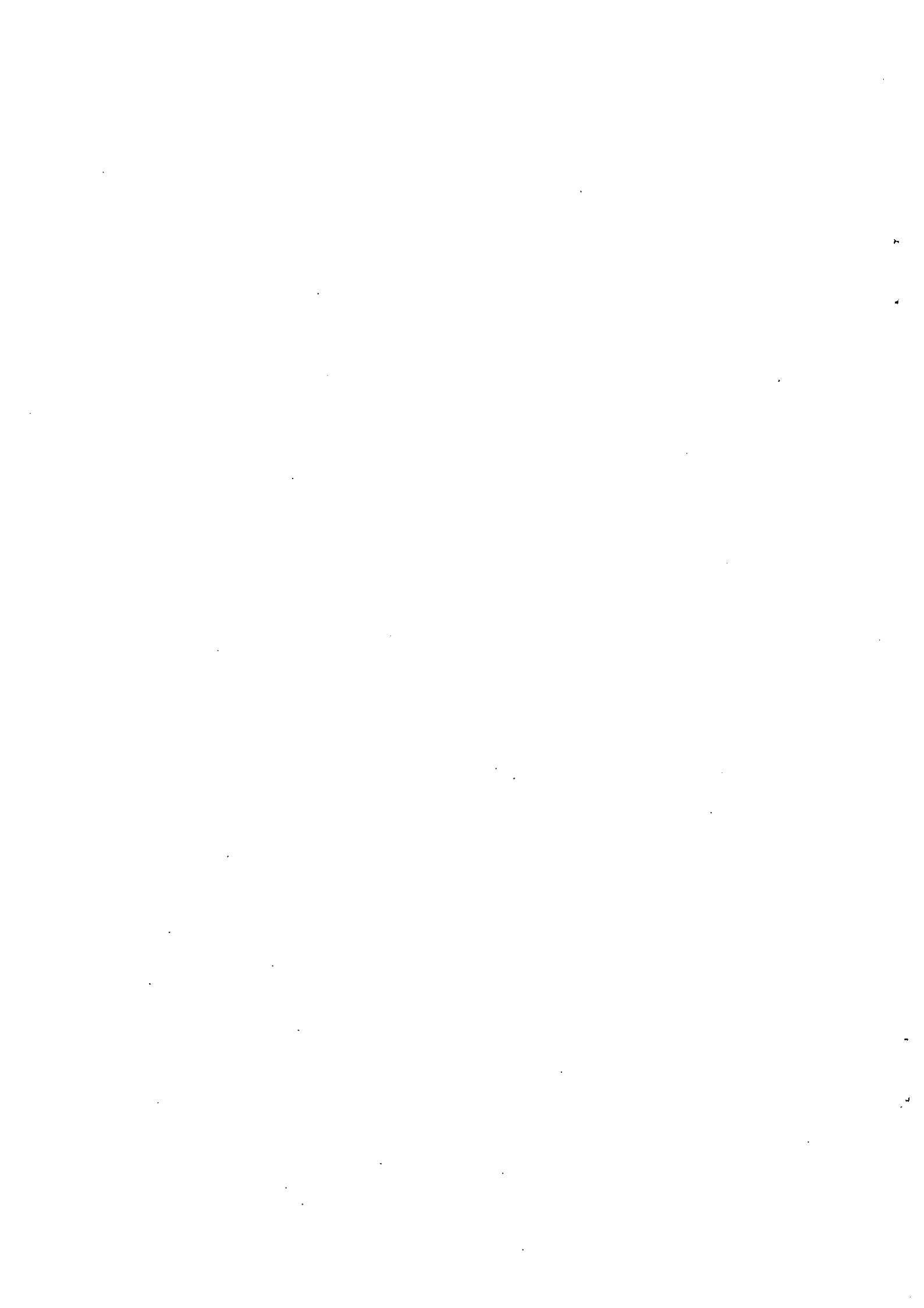


平成29年度  
鳥取県の政策に関する県民意識調査  
【調査結果】

平成29年10月  
鳥取県 元気づくり総本部 県民課



# 鳥取県の政策に関する県民意識調査

## 結果報告書

(平成29年7月調査)

平成 29 年9月



# 目 次

	ページ
<b>【 調査の概要 】</b>	
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 資料のみかた.....	1
4 回収状況と信頼区間.....	2
<b>【 結果の概要 】</b>	
結果の概要.....	3
<b>【 調査結果 】</b>	
<b>I 鳥取県の住みやすさについて.....</b>	<b>6</b>
問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか.....	6
問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください.....	8
問3 あなたが今、鳥取県内に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか.....	10
<b>II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について.....</b>	<b>11</b>
問4-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度.....	11
問4-1-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度.....	12
問4-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度.....	14
問4-2-1 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度.....	15
問4-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度.....	17
問4-3-1 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度.....	18
問4-4 「県政のさまざまな取組」の満足度.....	20
問4-4-1 「県政のさまざまな取組」の重要度.....	21
<b>III 重点施策への関心・認識.....</b>	<b>23</b>
問5 「男性の育児参加の推進」などを目的とした施策やフレーズの認識度.....	23
問6 男性が育児に積極的に参加していくことについてどう思いますか.....	25
問7 男性の育児参加を促進するために、行政がとるべき必要な施策.....	27
問8 男性の育児休業取得が進まない要因.....	29

## 《女性活躍推進について》

問 9	ワークライフバランス・男女共同参画社会の認知度 .....	31
問 10	男女に関する役割などについて .....	34
問 11	女性が結婚や出産後も継続して仕事を続けるために行政の果たす役割は何だと思えますか .....	35
問 12	あなたもしくはあなたの家族のうち、家族内での介護の経験がありますか .....	37
問 12-1	実際に介護をしたのは要介護者からみて主にどなたですか .....	37
問 12-2	介護するにあたり、介護をした方の仕事への影響 .....	39
問 13	家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいこと .....	41

## 《出生率について》

問 14	鳥取における希望出生率(1.95)を実現するために今後強化していくべき項目 .....	43
問 15	若い世代の未婚化、晩婚化傾向に歯止めをかけるため、行政で取り組むべき施策 .....	45

## 《あなたの幸福度について》

問 16	鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか .....	47
問 17	あなたの「幸福度」を判断する時に、あなたが重視することはなんですか .....	49
その他・自由記述 .....		51

IV	回答者の情報 .....	53
1	性別 .....	53
2	年齢 .....	53
3	職業等 .....	55
4	居住地域 .....	55

## 【資料】

調査票 .....	57
集計結果 .....	65

# 【 調 査 の 概 要 】

## 1 調査の目的

鳥取県では、人口減少・少子高齢化の現在の状況下でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、将来にわたって発展していくために、地方創生総合戦略「鳥取県元気づくり総合戦略」を策定するなど、鳥取県の元気づくりを進めています。

この調査は、「鳥取県元気づくり総合戦略」に掲げる施策をはじめとした鳥取県政全般について、皆さんの関心や御意向・要望等を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活かすため、無作為で選ばせていただいた県内在住の18歳以上の方3,000人を対象に実施したものです。

## 2 調査の概要

- (1) 調査対象 鳥取県内在住の18歳以上の者 3,000名
- (2) 抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3) 調査時期 平成29年7月
- (4) 調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して実施した。なお、調査票の提出は無記名とした。
- (5) 有効回答数 1,450名
- (6) 回収率 48.3%(1,450/3,000)

## 3 資料のみかた

### (1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。1人の対象に2つ以上の回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。

### (2) 「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・回答数の制限を超える回答が選択されている場合

例:「○は1つだけ」という条件のある設問で2つ以上の回答を選択した場合など

### (3) 選択された回答に矛盾がある場合の取り扱いについて

排他カテゴリ※以外の選択肢を採用することとした。

※排他カテゴリ...2つ以上選択できる設問の「必要ない」「わからない」などの選択肢

### (4) 調査項目の「合計」の不一致について

クロス集計※の「合計」と単純集計の「合計」は一致しない。これは、クロス集計には、性別、年齢などが記載されていないものは含めていないためである。

※クロス集計...性別、年齢や他の質問項目を掛け合わせてデータの分析や集計を行うことにより、相互の関係を明らかにするための集計方法

#### 4 回収状況と信頼区間

##### (1) 必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上の県人口 480,818 人(平成 28 年 9 月現在)から無作為に、3,000 人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は 1,450 人であり、回収率は 48.3%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[ \frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数  
α = 推定を誤る確率  
X(α) = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)  
N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上の県民)  
σ<sup>2</sup> = 母分散  
ε = 精度

本調査では、信頼度を、95%とし計算を行った。この場合、X(α)は、1.96 であり、母集団の大きさは 443,056 人。精度を仮に 3%、母比率を 50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{482,785}{\left[ \frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{482,784}{50 \times 50} + 1} = 1,064.7599$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は 1,065 人であり、有効回答 1,450 人はこの条件を満たしているといえる。

##### (2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[ \frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(100-Q)}{n}}$$

- B = 標本誤差  
N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上の県民)  
n = 回答者総数(1,334 人)  
Q = 回収率(48.6%)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[ \frac{481,451}{482,784} \right] \cdot \frac{48.6(100-48.6)}{1,334}} = \pm 2.68$$

すなわち、標本誤差は ±2.7% しかないといえる。

## 【 結 果 の 概 要 】

### 1 回答者の属性について

- 性別：男性 622 人 (42.9%)、女性 811 人 (55.9%)
- 年齢：18～19 歳 (2.0%)、20～29 歳 (9.9%)、30～39 歳 (11.1%)、40～49 歳 (14.1%)、50～59 歳 (17.6%)、60～69 歳 (25.0%)、70～79 歳 (13.9%)、80 歳以上 (6.0%)

### Ⅰ 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りに思う気持ちは、約 7 割の人が「感じている」と答えている。
- 鳥取県で、今暮らしている地域は、6 割以上の人が「住みやすい」と答えている。
- 豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約 9 割と圧倒的に多く、また治安も良く、住民が親切で、人と人との繋がりががあると約 6 割の人が答えている。
- 生活の中で公共交通機関の整備は、約半数の人が「整っていない」と感じている。

### Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

#### 【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「農業の活力増進」「農林水産・畜産業の担い手育成」の農林水産関係、また「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」「鳥取県周辺地域と連携した観光客推進」等の観光関係に『不満』の意見が多い。しかし、「豊かな自然環境の保存・活用」「観光資源を活用した誘客の取組」「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減」等の取組には『満足』と感じている。

#### (今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「農林水産・畜産業の担い手育成」「農業の活力増進」「農林水産物の販売戦略」等の農林水産関係を優先すべきとして意見が上位を占めている。

#### 【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「若者の出会い、結婚応援」「中山間地域の安心と元気をつくり出す」「子どもたちの多様な学びの機会への取組」に『不満』を感じている。しかし、「安心して出産や子育てできる環境」は『満足』と感じている意見が多い。

#### (今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「安心して出産や子育てができる環境」「子どもたちに多様な学びの機会」「中山間地域の安心と元気をつくり出す」等の子育てや中山間地域に関する項目、また「高齢者や障がい者が輝ける地域づくり」「若者の出会い、結婚応援」等の意見が上位項目となっている。

#### 【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「暮らしやすく、まちを元気にしていく」「働く場の確保」「新たな産業を生み出す」等に『不満』を感じている意見が多い。

#### (今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「働く場の確保」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」の取組を 5 割以上の人が優先すべきと答えている。



## 【県政のさまざまな取組】

- 「医療体制の強化」「地域犯罪や交通事故の抑制・防止」については、やや『満足』と感じている人が多いが、「県内交通の高速化」については、約4割の人が『不満』を感じている。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」が5割以上、「健康を守り、医療体制を強化」「県内交通の高速化」が4割以上の人が優先すべきと答えている。

## Ⅲ 重点施策への関心・認識

＜子育て施策(男性の育児参加)について＞

- 男性の育児参加の推進について、「イクメン」が約9割の認知度がある。
- 男性の育児参加について、約9割の人が「良いこと」だと感じている。
- 男性の育児参加促進のためには企業・家庭への経済的支援、育児休暇の義務化を必要とする意見が多くみられる。
- 男性の育児休業取得が進まない要因は、経営者、上司の理解不足や所得への影響面、意識面を要因とする意見が多くみられる。

＜女性の活躍推進について＞

- 「ワーク・ライフ・バランス」は約3割、「男女共同参画社会」は約5割が認識している。
- 男女に関する役割などについて、約9割の人が「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」と答え、また7割強の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 女性が仕事を続けるための行政が果たす役割について、6割以上の人が「保育園や幼稚園などの子育て施設や学童保育などの子ども預かり施設の充実」、4割前後の人が「男性の育児参加や育児休業・休暇取得の促進」「短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など多様な働き方の導入促進」と答えている。
- 介護経験について、「ある」「ない」共に4割強となっている。実際に介護をしたのは要介護者から見て「息子の嫁」が最も多く、次いで「妻」、「娘」など女性が介護をしている事がわかった。
- 介護をした方への仕事への影響は、「退職した」「有給休暇を取得した」がともに高くなっている。
- 家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいことは、「要介護者それぞれにあわせた各種サービスの増加」「介護サービスに係る情報提供・相談支援体制の充実」が約5割と共に高くなっている。

＜出生率＞

- 希望出生率（1.95）を実現するために今後強化すべきことは「出産・育児で仕事を離れた方がスムーズに社会復帰できる環境や、男女ともに子育てしながら安心して働くことのできる職場環境の整備」「子どもを安心して預けられる体制の整備（保育所・認定子ども園などの増加）」が共に5割以上と高くなっている。
- 若い世代の未婚化、晩婚化傾向に対する行政の施策は「出会いの機会の創出や結婚に関する相談受付などによる若い世代の結婚サポート」が約4割強と最も高くなっている。

＜あなたの幸福度について＞

- 鳥取県に暮らしてあなたの幸福度について「5 普通」以上が約8割であった。
- 幸福度を判断するとき6割以上の人が「自身の健康の状況」「家計の状況」と答えている。

# 【 調 査 結 果 】

# I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が46.5%、「少し感じている」が25.1%と、愛着や誇りを感じている人が71.6%と約7割ある。一方、「感じていない」が1.9%、「あまり感じていない」が3.9%と愛着や誇りを感じていない人は、5.8%と1割にも満たない。

平成28年度と比較してみると、平成29年度では、「感じている」が5.1ポイント、「少し感じている」が2.4ポイント減少している。また「普通(どちらともいえない)」は8.2ポイント増加している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」、「少し感じている」を合わせた割合は、30歳代(66.5%)が最も低く、逆に60歳代以上では他の年代と比較して高くなっている。

性・年代別でみると、男性の40歳代(68.2%)、女性の30歳代(61.4%)が「感じている」割合が最も低い。

地域別でみると、中部地区(77.1%)が他の地区と比べ、「感じている」割合が高くなっている。

図1 鳥取県に対しての愛着や誇りについて  
(n=1,450)

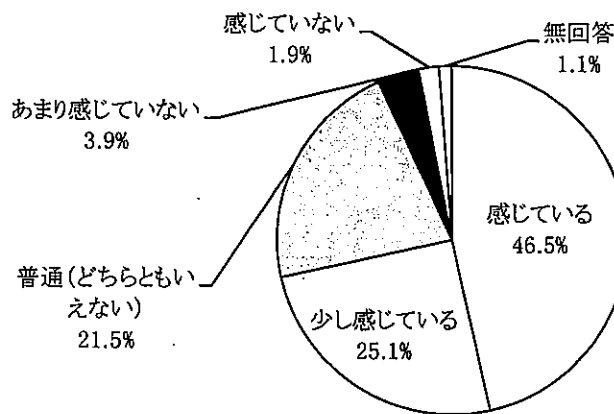


図2 鳥取県に対する愛着や誇りについて

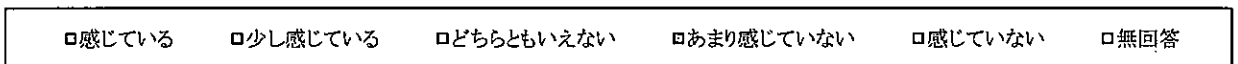
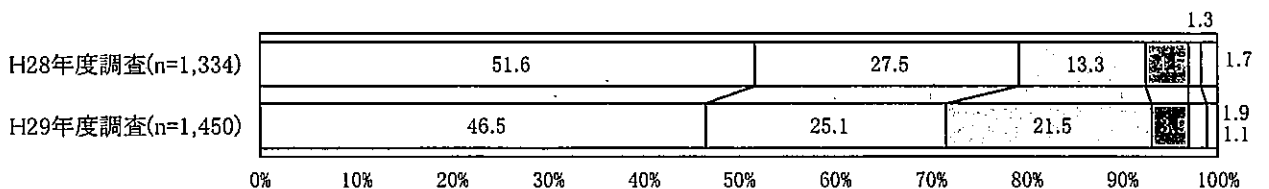
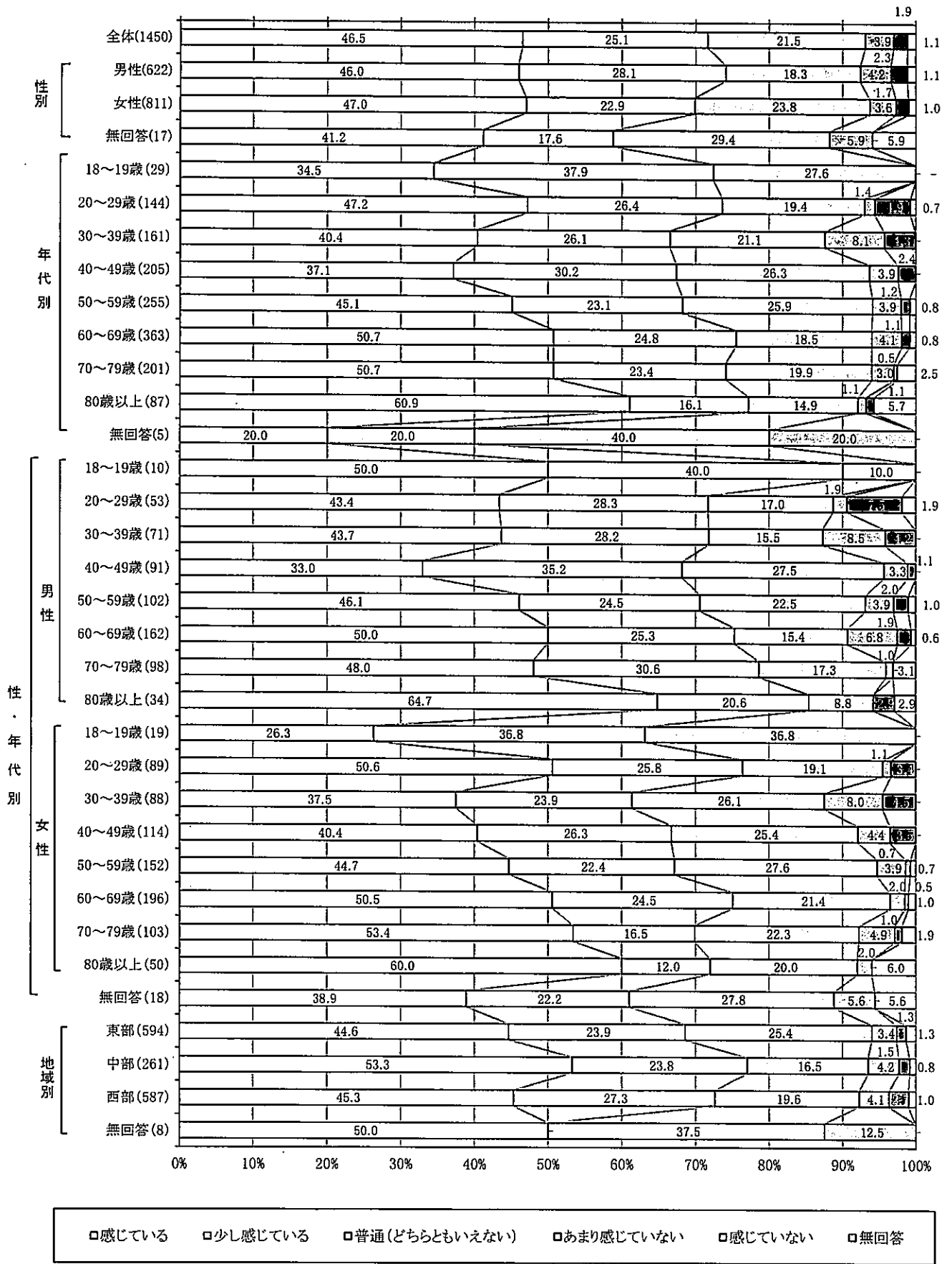


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」と6割強の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が20.8%、「どちらかという住みやすい」が43.4%と、今住んでいる地域は、住みやすいと答えている人が64.2%と約6割強ある。一方、「住みにくい」が2.1%、「どちらかという住みにくい」が7.9%と、住みにくいと答える人は10.0%と1割となっている。

28年度との比較では、「とても住みやすい」が3.4ポイント、「どちらかという住みやすい」が7.3ポイント減少し、「普通(どちらともいえない)」は10.0ポイント増加している。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」、「どちらかという住みやすい」を合わせると、男性は70歳代(71.4%)、女性は50歳代(68.4%)が最も高くなっている。

地域別でみると、東部地区(60.8%)が他の地域に比較して住みやすいと答える割合が最も低い。

図4 暮らしている地域の住みやすさ  
(n=1,450)

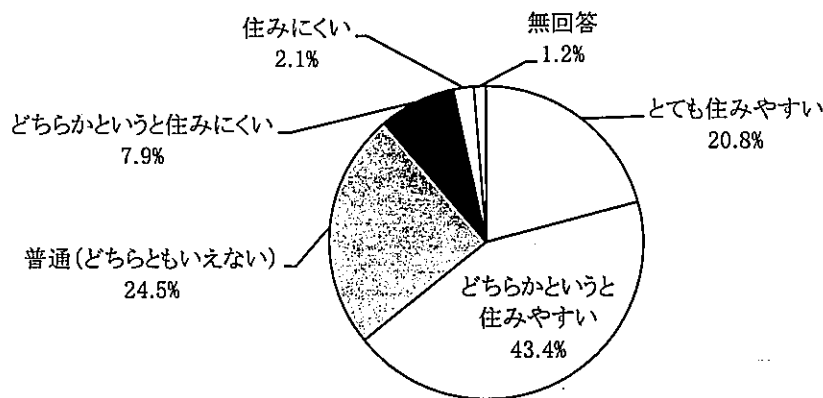


図5 暮らしている地域の住みやすさ

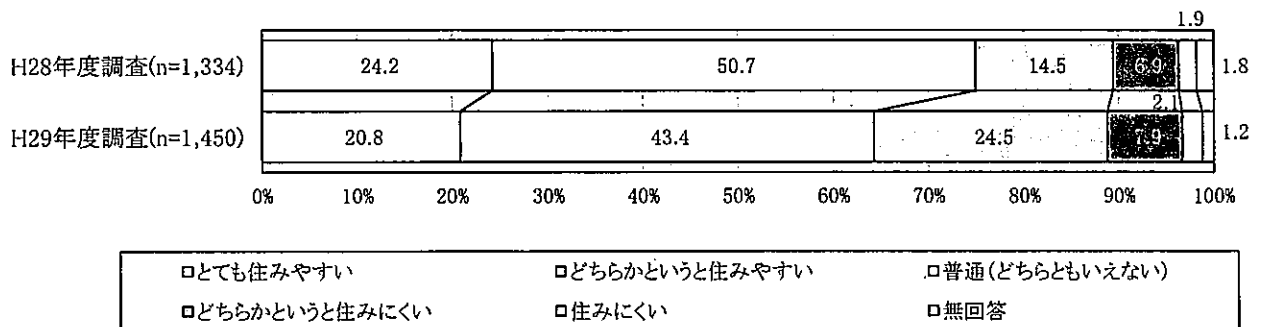
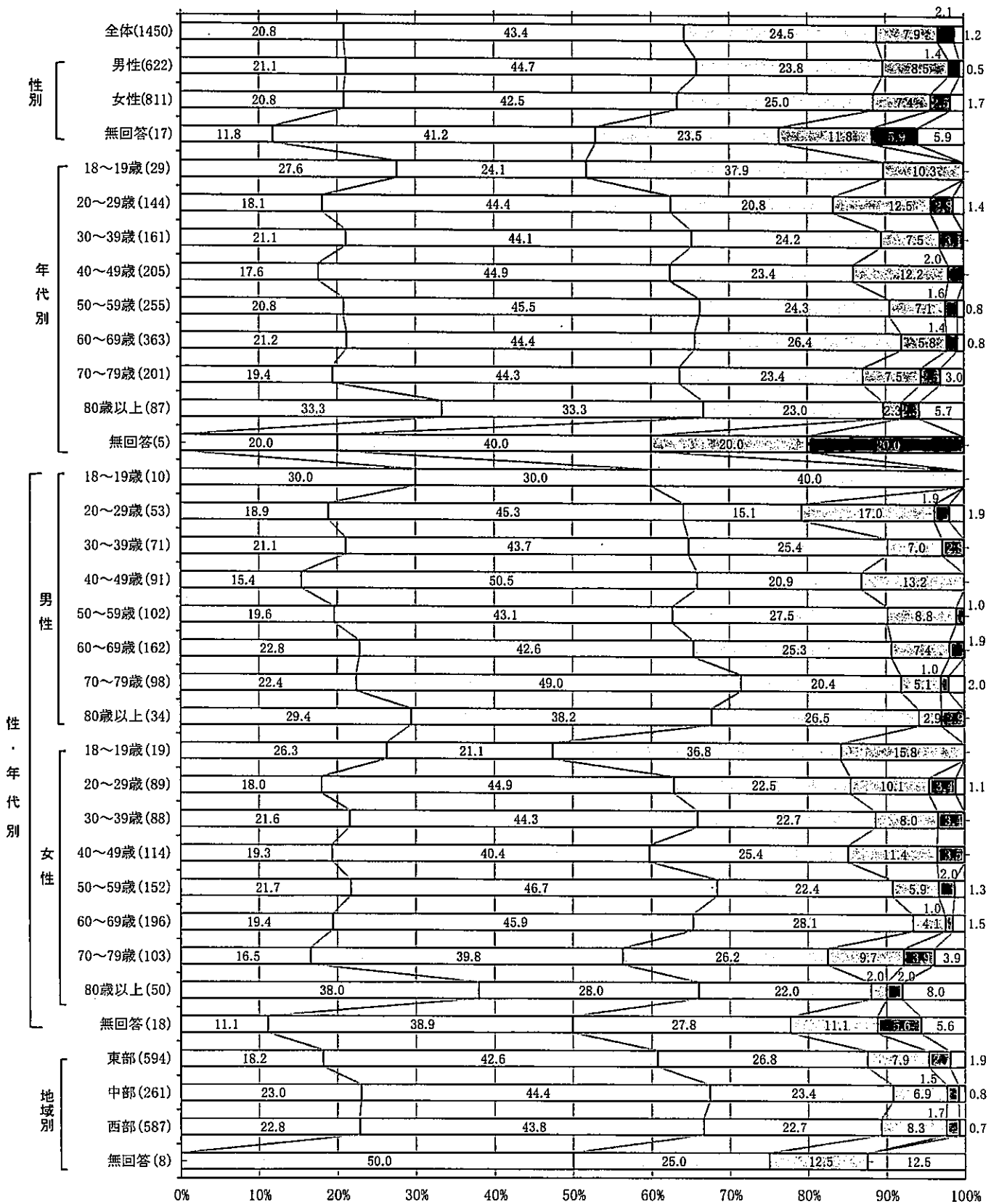


図6 暮らしている地域の住みやすさ



□とても住みやすい □どちらかという住みやすい □普通(どちらともいえない) □どちらかという住みにくい □住みにくい □無回答

問3 あなたが今、鳥取県内に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか、項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

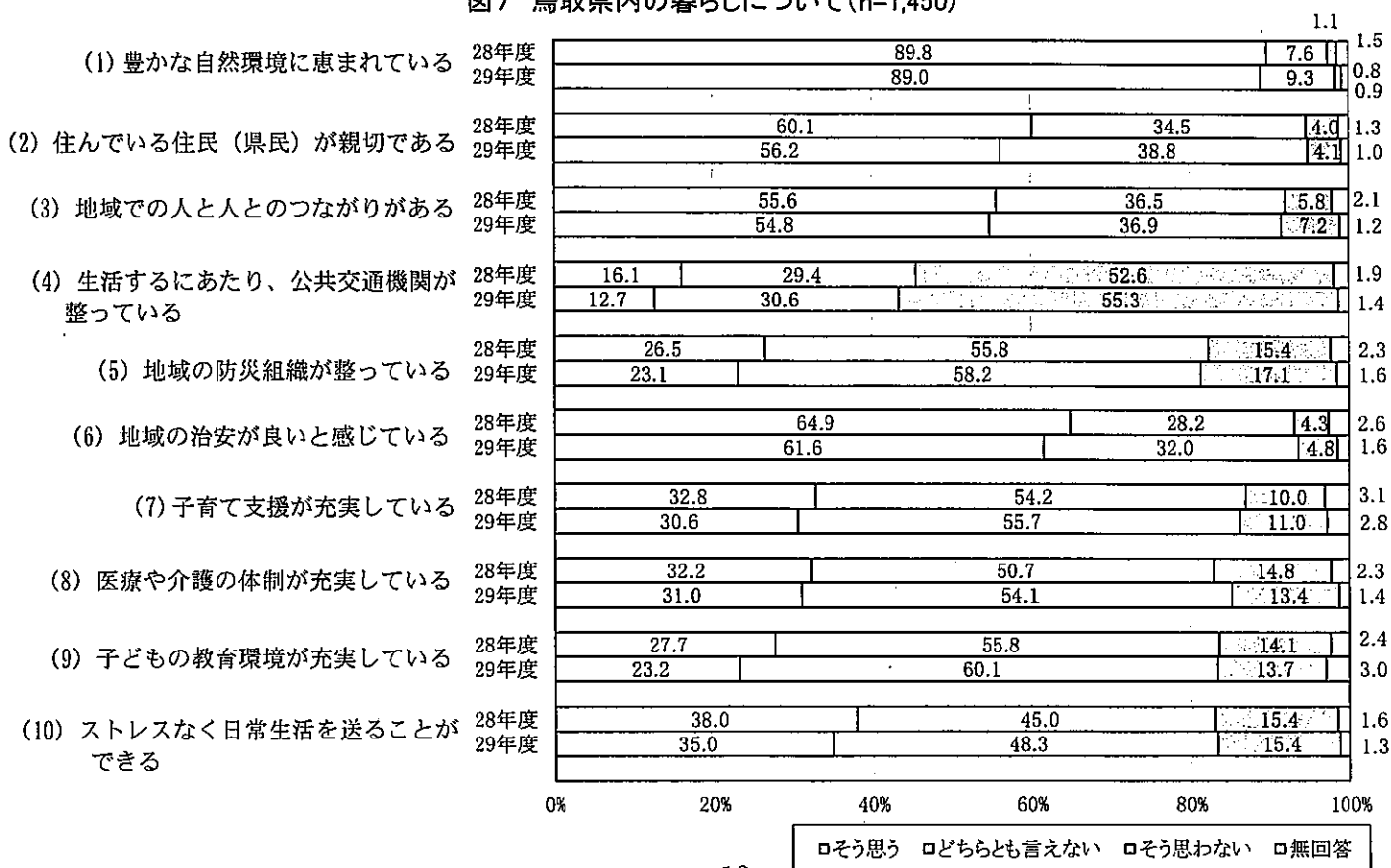
～「豊かな自然環境に恵まれている」と感じている人が約9割～

鳥取県内に暮らしていて良く感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が89.0%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が61.6%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が56.2%、「地域での人と人とのつながりがある」が54.8%と続き、自然、治安、人とのつながりの面を鳥取県内に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県内に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が55.3%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が17.1%、「ストレスなく日常生活を送ることができる」が15.4%、「子どもの教育環境が充実している」が13.7%、「医療や介護の体制が充実している」が13.4%、と続いている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、よく感じる(そう思う)項目は、「子どもの教育環境が充実している(4.5ポイント減少)」、「住んでいる住民(県民)が親切である(3.9ポイント減少)」、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている(3.4ポイント減少)」、「地域の防災組織が整っている(3.4ポイント減少)」、「地域の治安が良いと感じている(3.3ポイント減少)」とすべての設問で減少している。

図7 鳥取県内の暮らしについて(n=1,450)



## II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

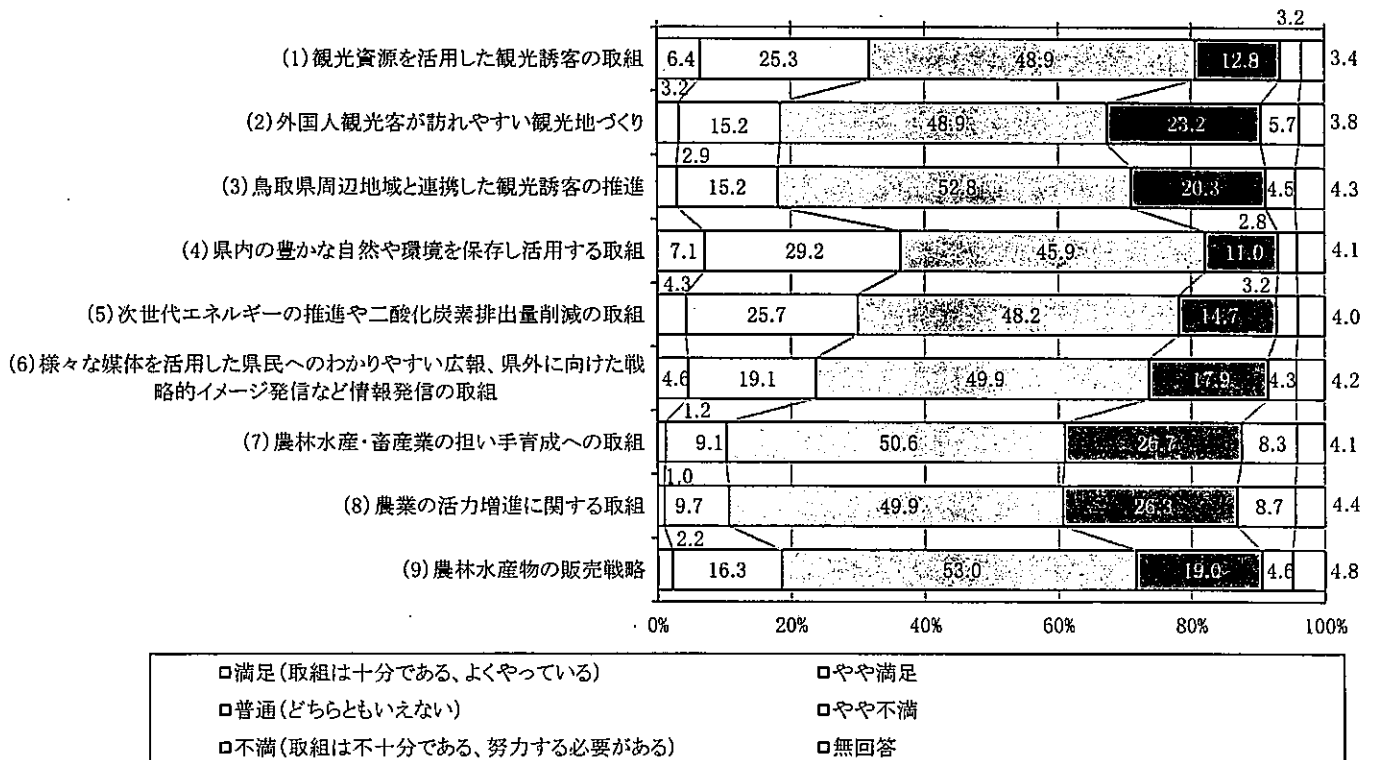
問4 鳥取県が実施している施策等について、政策分野別のあなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

### 問4-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組に「満足」  
農林・畜産業の担い手育成や農業の活力増進の取組には「不満」～

豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組」が36.3%(満足:7.1%、やや満足:29.2%)が最も高く、次いで「観光資源を活用した観光誘客の取組」が31.7%、「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減の取組」が30.0%、「様々な媒体を活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信など情報発信の取組」が23.7%と続き、自然・環境の保存や資源を活かした観光の取組、次世代エネルギーの推進等の取組や各種媒体を活用した県民への情報発信に対する取組を評価している。

図8 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度 (n=1,450)





問4-1-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組について、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。(平成28年度-平成29年度比較)

～「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」が高い～

今後優先すべき重要度の項目は、「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」が47.6%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が42.6%、「農林水産物の販売戦略」が35.1%、「観光資源を活用した観光客誘客の取組」が33.6%、「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」が31.5%と続き、農業振興に関連した取組と観光振興に関する取組が上位を占めている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「観光資源を活用した観光客誘客の取組」が1.8ポイント増加、「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」が1.6ポイント増加している。

年代別で見ると、30～70歳代で「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」「農林水産物の販売戦略」等の農業関係の意見が多く、10～30歳代で「観光資源を活用した観光客誘客の取組」「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」等の観光関連を優先すべきとの意見が多くみられる。

性・年代別で見ると、男性の50～60歳代で「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農林水産物の販売戦略」、10～20歳代で「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」の割合が高い。女性の10～50歳代で「観光資源を活用した観光客誘客の取組」、40～50歳代で「農業の活力増進に関する取組」の意見が多くみられる。

図9 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度

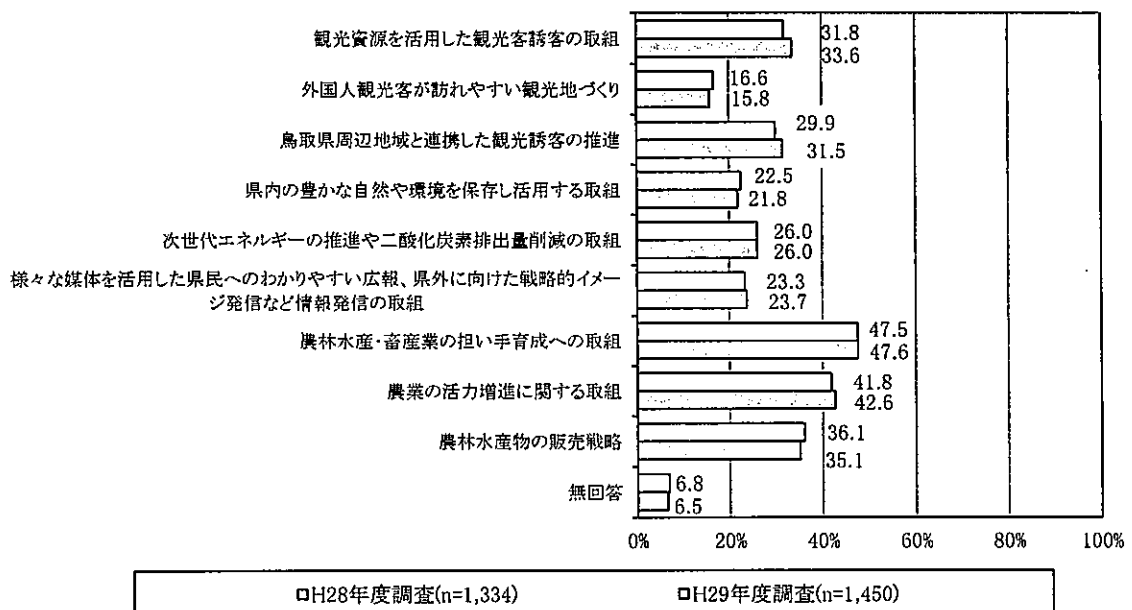
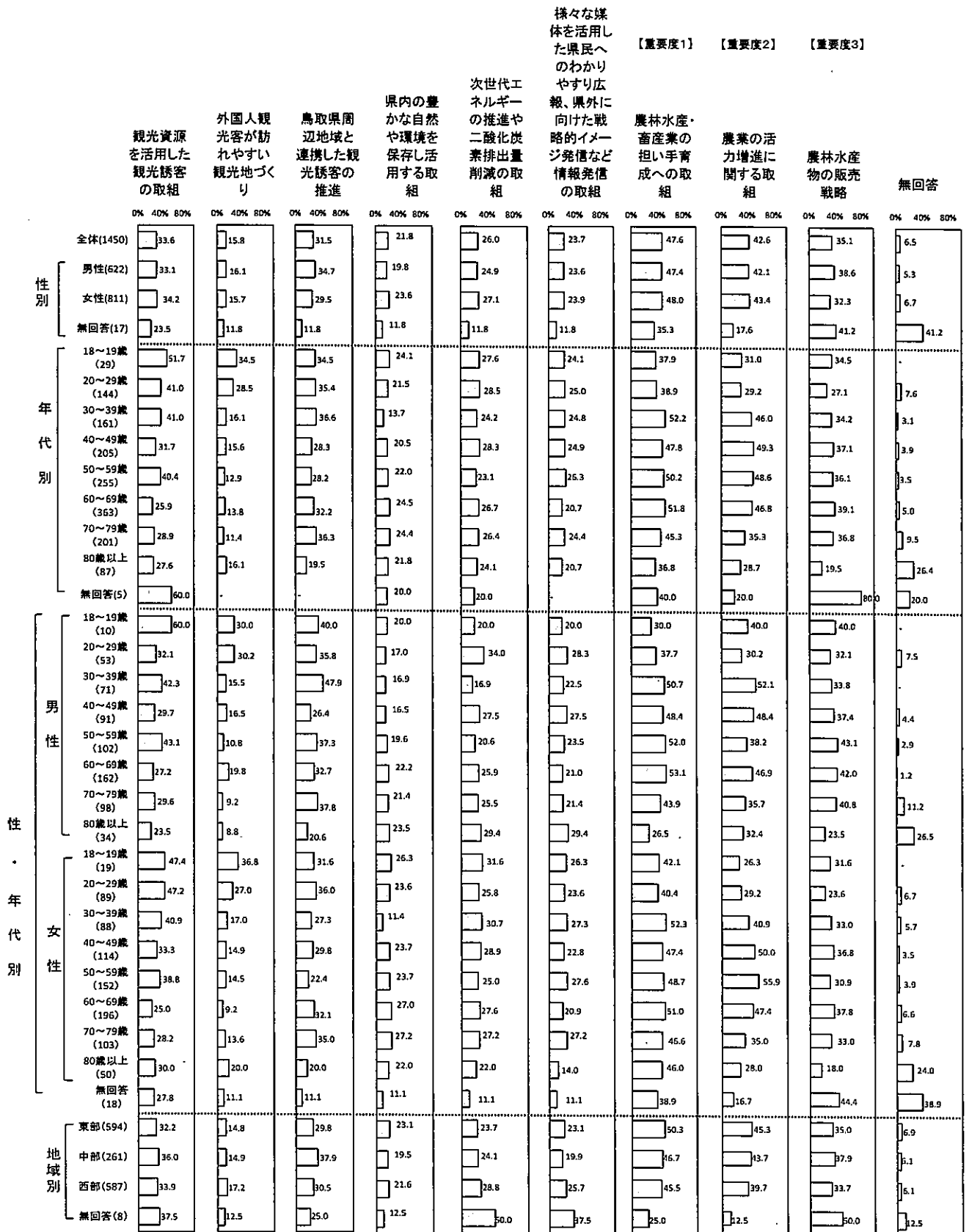


図 10 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる(今後優先すべき項目)



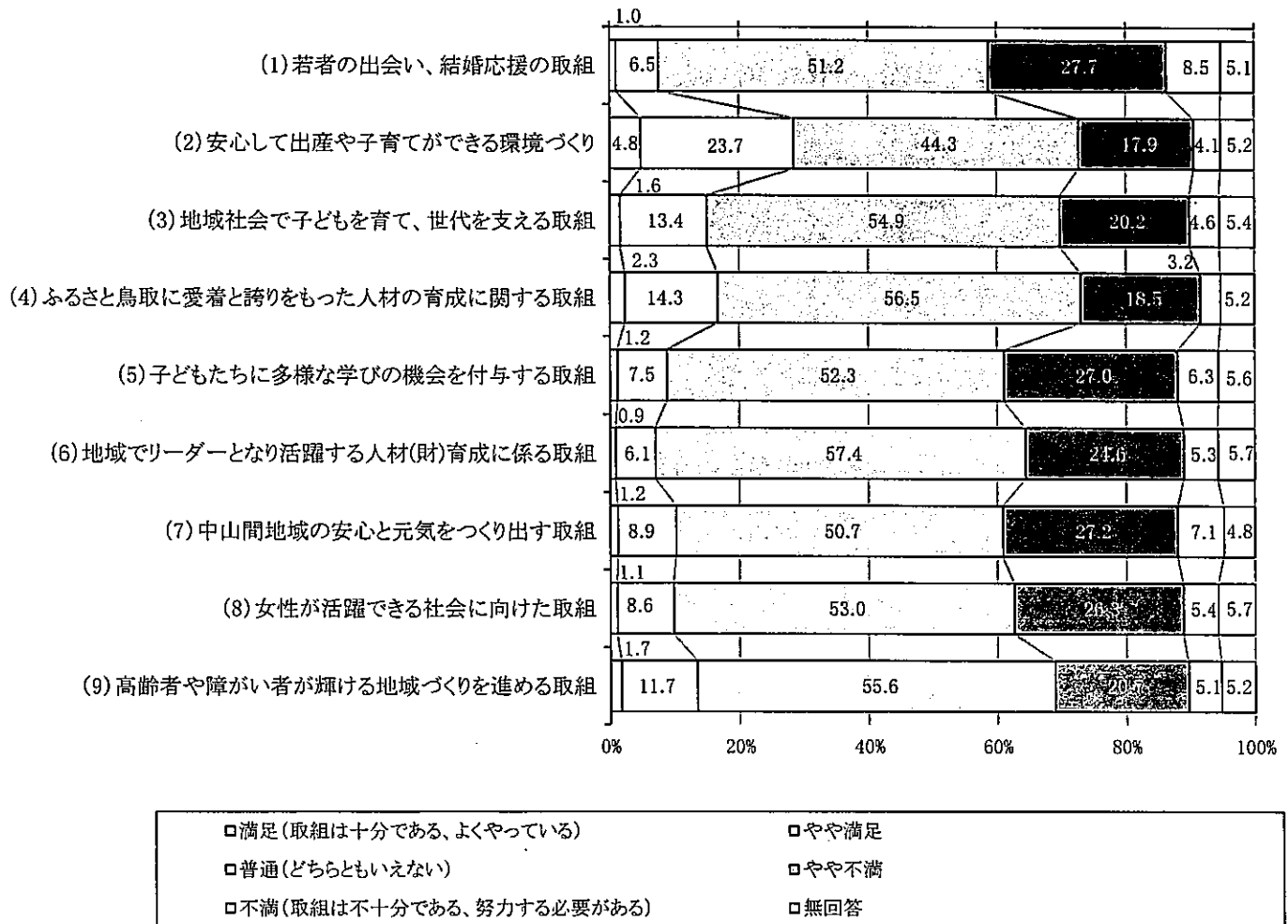
問 4-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～安心して出産や子育てができる環境には「満足」と感じているが、  
若者の結婚応援や中山間地域の支援について「不満」を感じている。～

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住むための取組について、満足度(満足・やや満足の計)が不満度(不満・やや不満の計)を上回っている項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が28.5%(満足:4.8%、やや満足:23.7%)のみであり、不満度22.0%を6.5ポイント上回っている。

一方、不満度(不満・やや不満の計)の高い項目の上位は、「若者の出会い、結婚応援の取組」が36.2%、「中山間地域の安心と元気を作り出す取組」が34.3%、「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」が33.3%と続き、結婚応援、中山間地域への取組、子どもたちへの学びへの取組に不満の意見が多くみられる。

図11 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(n=1450)



問4-2-1 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「安心して出産や子育てができる環境づくり」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が44.3%と最も割合が高く、次いで「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」、「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」が35.7%、「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」が34.2%、「若者の出会い、結婚応援の取組」が33.7%と続き、『出産・子育ての環境づくり、子どもたちの学びの機会、中山間地域の活性化、高齢者・障がい者が輝ける地域づくりや結婚支援』の取組が上位項目となっている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」が4.9ポイント、「若者の出会い、結婚応援の取組」が3.6ポイント、「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」が2.8ポイント、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が1.7ポイント、「地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組」が1.5ポイントと、増加している。

年代別にみると、10～30歳代で「安心して出産や子育てができる環境づくり」「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」、10～40歳代で「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」、40～70歳代で「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」が高くなっている。

性・年齢別でみると、男性の10～30歳代「安心して出産や子育てができる環境づくり」「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」の割合が高い。また女性の20～30歳代で「安心して出産や子育てができる環境づくり」、20～40歳代で「女性が活躍できる社会に向けた取組」の意見が多くみられる。地域別にみると、東部、西部で「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」の意見が多くみられる。

図12 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度

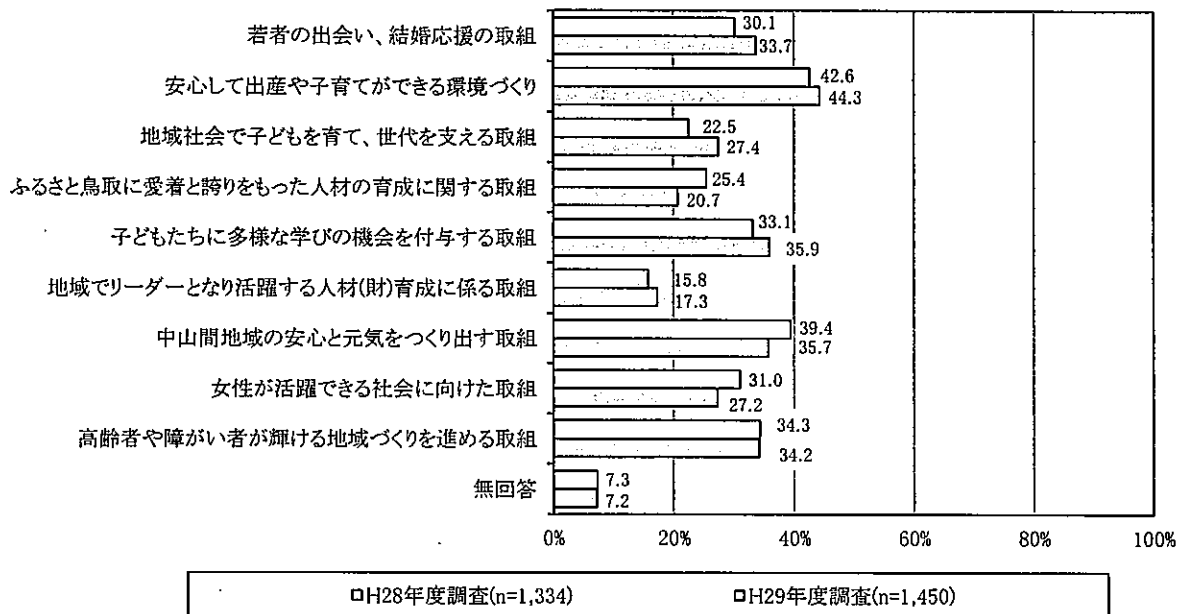
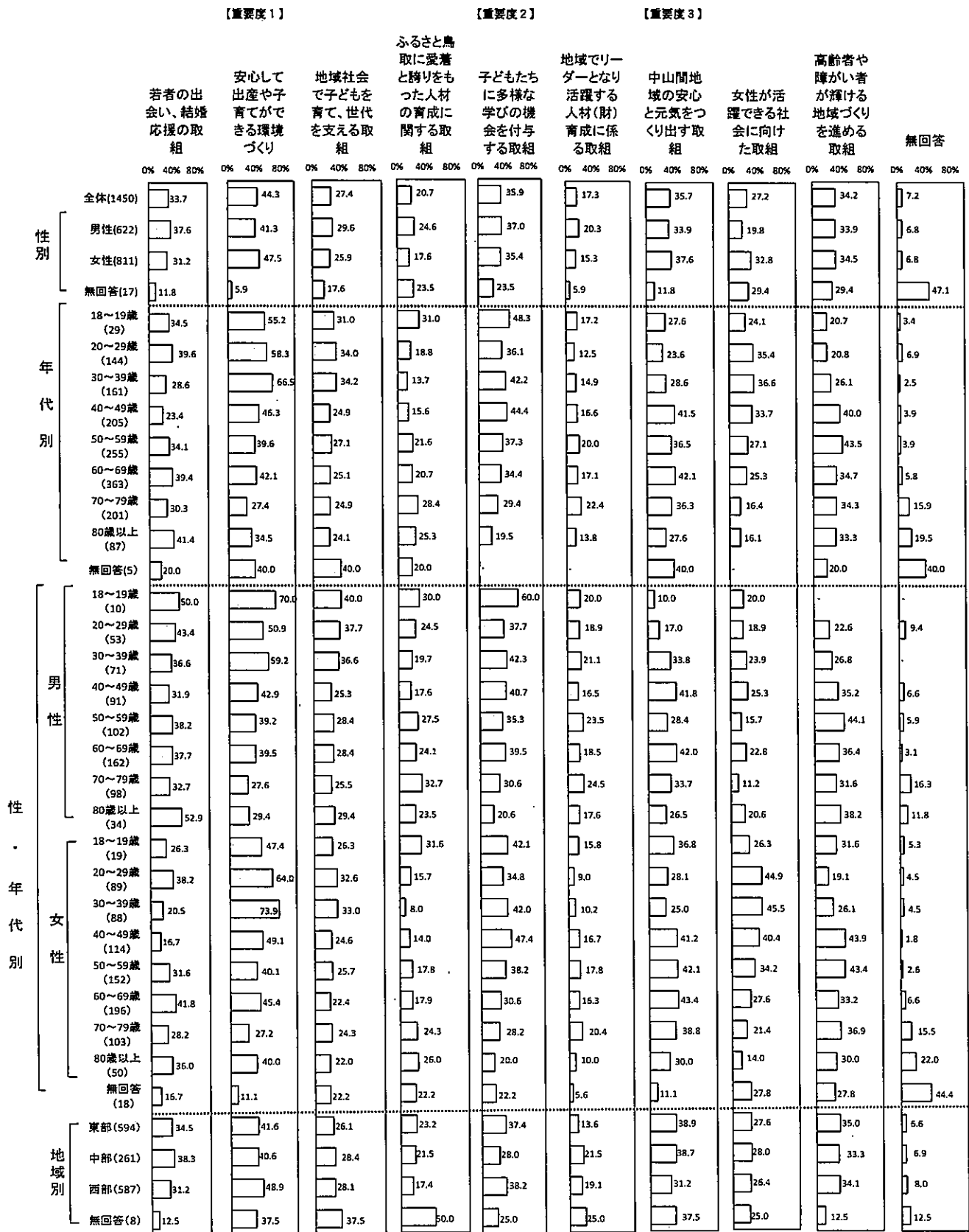


図 13 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(今後優先すべき項目)



問4-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

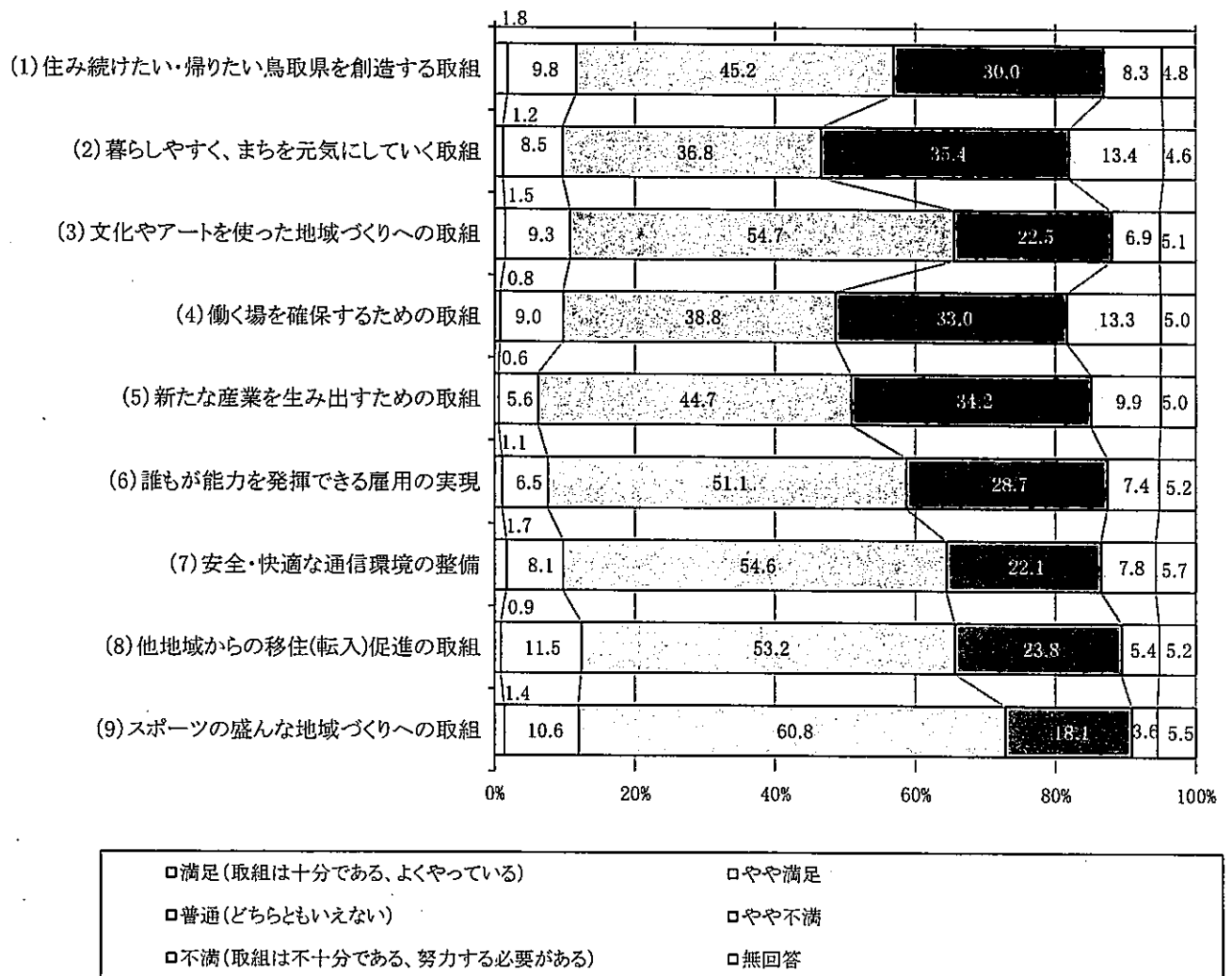
～移住促進・スポーツ面の「満足」は1割強が感じているが、

まちを元気にする取組、雇用の確保、新たな産業の創出に対して「不満」を感じている～

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむための取組の満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「他地域からの移住(転入)促進の取組」が12.4%と最も高く、次いで「スポーツの盛んな地域づくりへの取組」が12.0%と続いているが、各項目とも不満度(不満・やや不満の計)が満足度(満足・やや満足の計)を上回っている。

不満度(不満・やや不満の計)の高い項目の上位は、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が48.8%、「働く場を確保するための取組」が46.3%、「新たな産業を生み出すための取組」が44.1%と続き、『まちづくり、雇用の確保、新たな産業創出』に不満の意見が多くみられる。

図14 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度 (n=1,450)



問4-3-1 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「働く場を確保するための取組」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「働く場を確保するための取組」が57.4%と最も割合が高く、次いで「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が54.1%、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が45.7%と続き、『働く場の確保や住み続けたい鳥取県の創造、まちを元気にしていく』取組が上位となっている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「新たな産業を生み出すための取組」が4.2ポイント増加、「暮らしやすくまちを元気にしていく取組」が2.5ポイント増加、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が1.3ポイント増加している。

年代別にみると、20～30歳代は「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」、30～50歳代は「働く場を確保するための取組」の回答が多くみられる。

性・年代別でみると、男性の40～50歳代は「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」、30～60歳代は「働く場を確保するための取組」の意見が多くみられる。女性の50歳代は「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」、10～40歳代は「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」、30～50歳代は「働く場を確保するための取組」「誰もが能力を發揮できる雇用の実現」の意見が多くみられる。

図15 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度

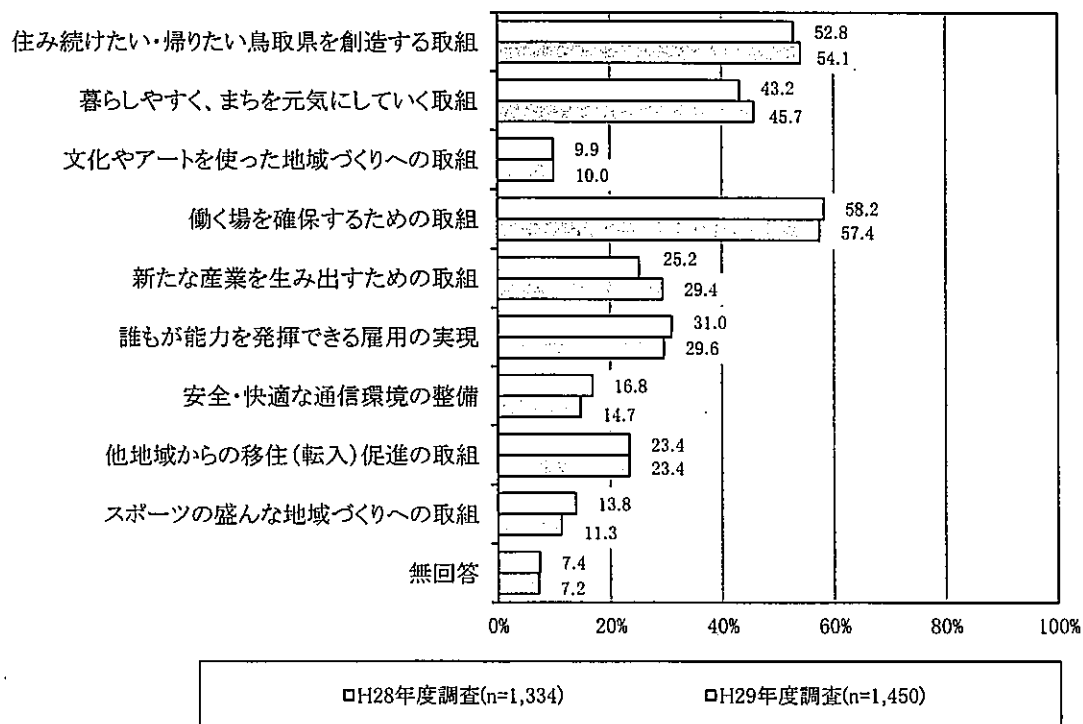
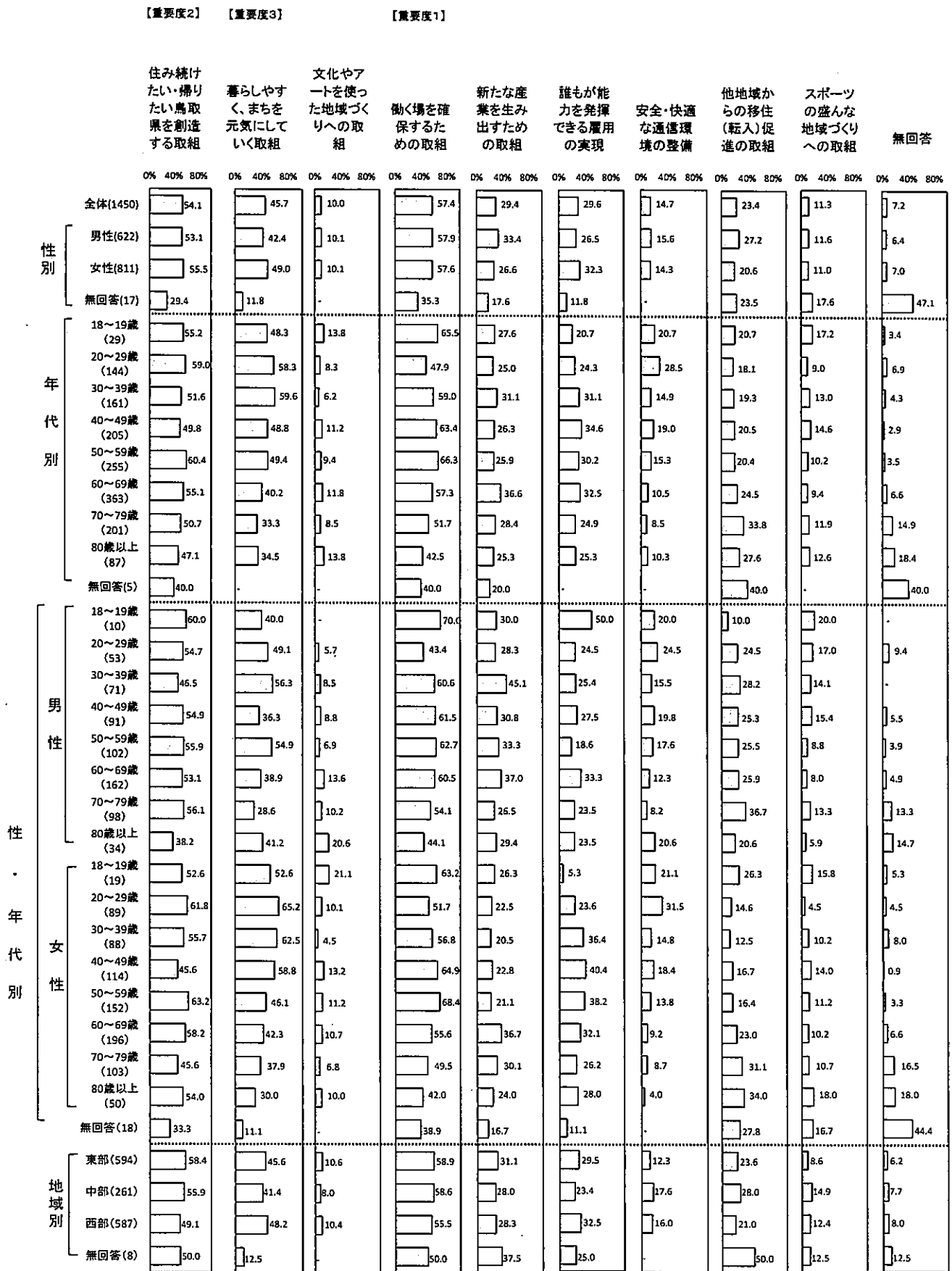


図 16 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ(今後優先すべき項目)





問4-4 「県政のさまざまな取組」に対する満足度

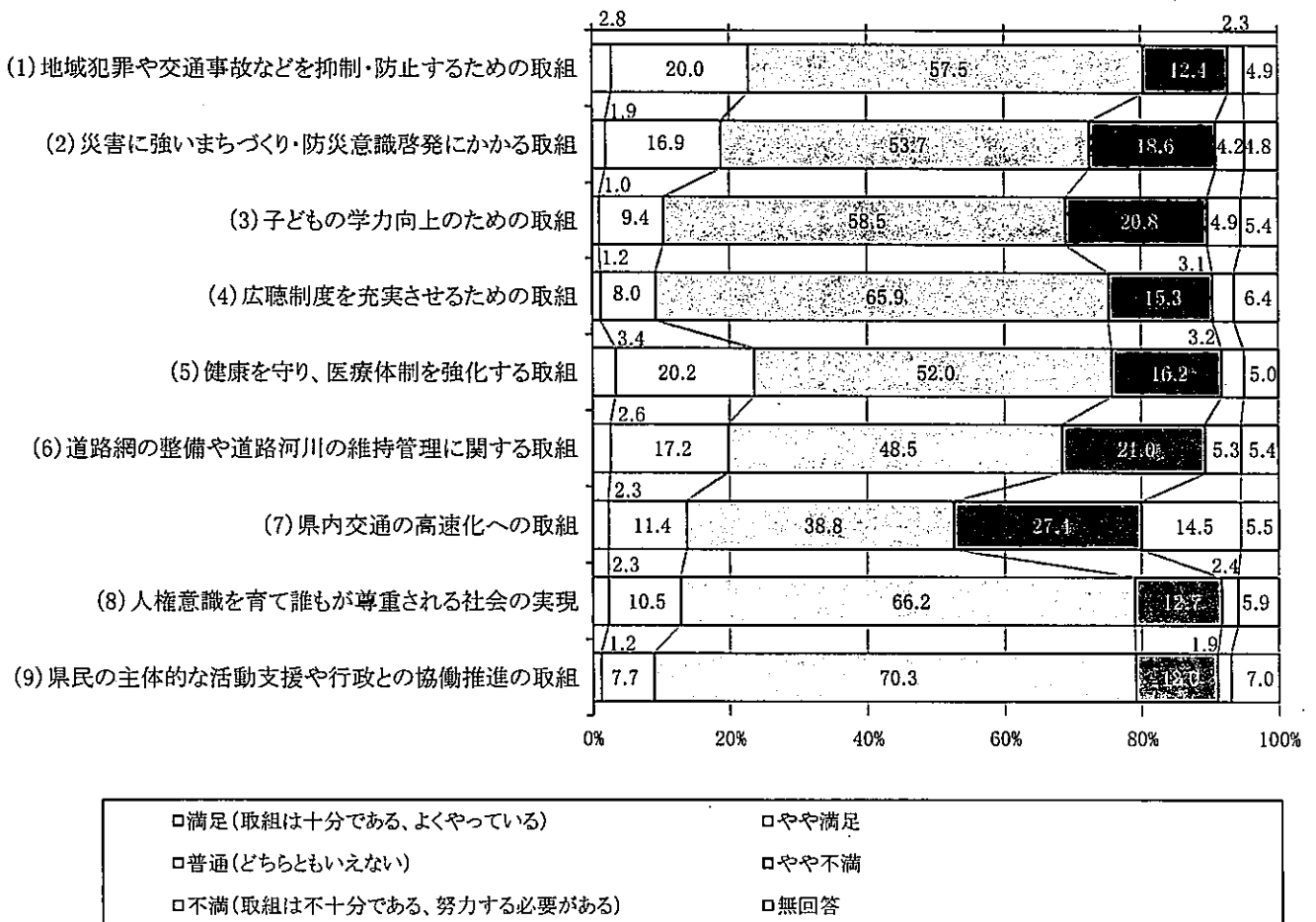
～医療体制の強化や地域犯罪・交通事故防止には「満足」と感じているが、

交通の高速化や道路河川の維持管理の取組について「不満」を感じている～

県政のさまざまな取組について、満足度(満足・やや満足の計)が不満度(不満・やや不満の計)を上回っている項目は、「健康を守り、医療体制を強化する取組」が23.6%(満足度:3.4%、やや満足:20.2%)と最も高く、次いで「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組」が22.8%となっている。

一方、不満度(不満・やや不満の計)の高い項目の上位は、「県内交通の高速化への取組」が41.9%(不満:14.5%、やや不満:27.4%)と最も高く、次いで「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が26.3%、「子どもの学力向上のための取組」が25.7%、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が22.8%と続いている。

図17 「県政のさまざまな取組」の満足度(n=1,450)



問4-4-1 「県政のさまざまな取組」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」「健康を守り、医療体制を強化」「県内交通の高速化」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が51.2%と最も割合が高く、次いで「健康を守り、医療体制を強化する取組」が46.6%、「県内交通の高速化への取組」が43.9%と続き、「防災や医療体制の強化、高速道路への取組」が上位となっている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が3.9ポイント増加、「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が1.7ポイント増加している。

性別でみると、男性は「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」「県内交通の高速化への取組」、女性は「健康を守り、医療体制を強化する取組」の意見が多くみられる。

年代別でみると、10～40歳代は「子どもの学力向上のための取組」、20～50歳代は「県内交通の高速化への取組」の割合が高い。

性・年代別でみると、男性の60歳代は「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が多く、女性の10～40歳代は「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組」、40～70歳代は「健康を守り、医療体制を強化する取組」の割合が高い。

図18 「県政のさまざまな取組」の重要度

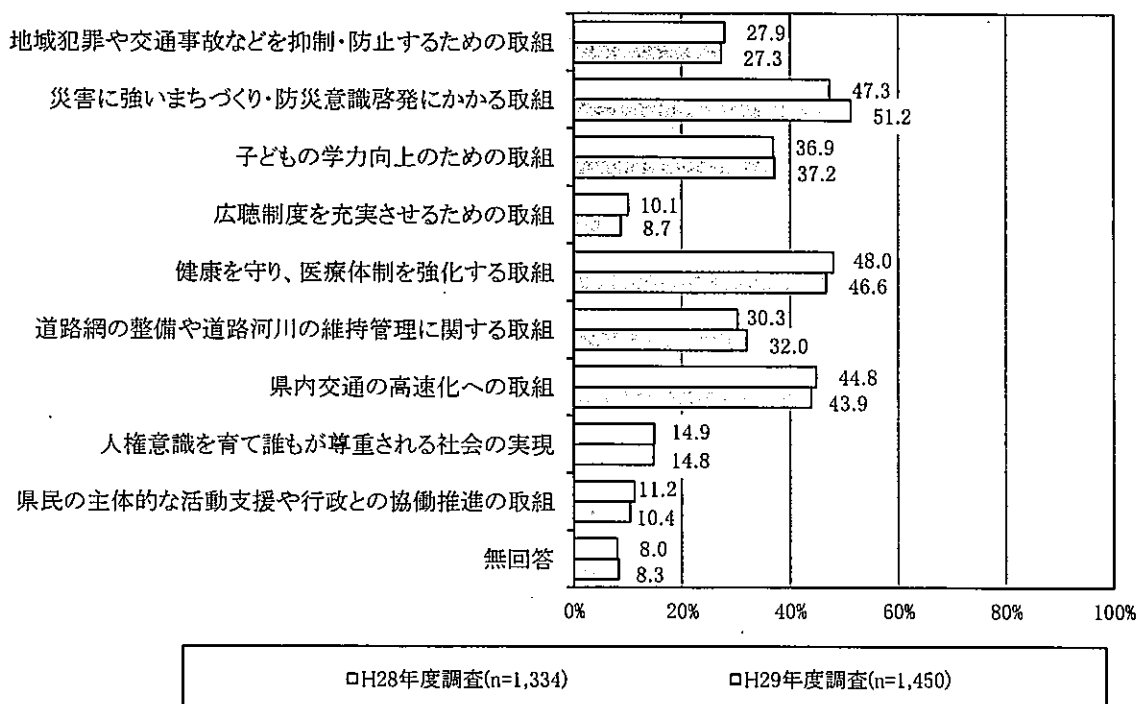
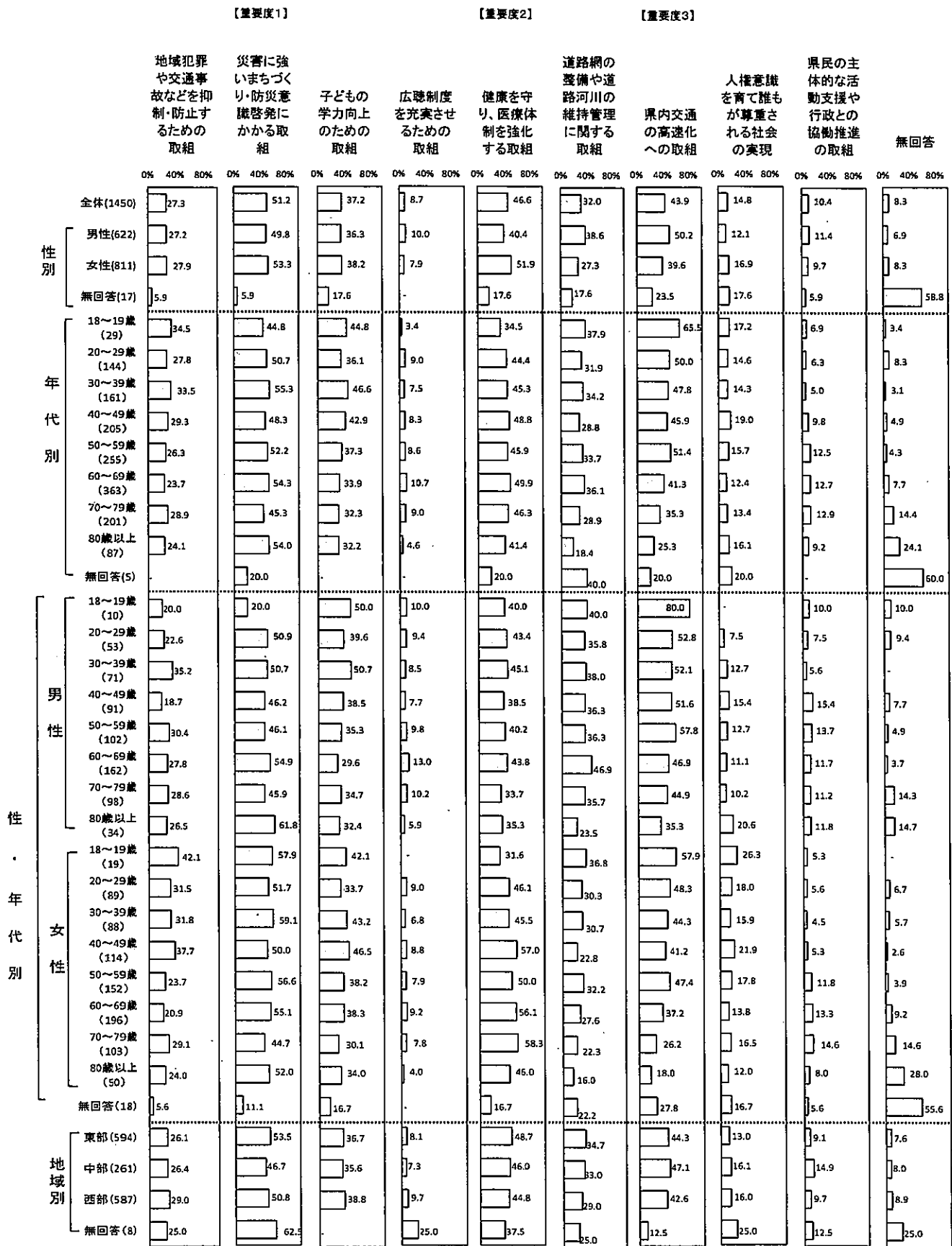


図 19 県政のさまざまな取組(今後優先すべき項目)



### Ⅲ 重点施策への関心・認識

鳥取県が重点的に施策を展開している事業についての認識や意識をお聞きます。

問5 「男性の育児参加の推進」などを目的とした施策やフレーズのうち、あなたをご存知のもの・聞いたことのあるものをお選びください。(〇はいくつでも)

～『イクメン』は約9割が認知～

「男性の育児参加の推進」を目的とした施策やフレーズのうち、「イクメン」が87.8%と9割の認知度があり、次いで「イクボス」が41.9%と続いているが、「とっとりイクメンプロジェクト」「カジメン」、「パパママ育休プラス」等は1割程度となっている。

年代別でみると、10～50歳代で「イクメン」、30～60歳代で「イクボス」の認知が高い。

性・年代別でみると、男性の20歳代は「イクボス」、30歳代は「カジメン」、また20～30歳代は「とっとりイクメンプロジェクト(鳥取県施策)」の認知が高い。女性は30～50歳代で「イクボス」「とっとりイクメンプロジェクト(鳥取県施策)」、また50歳代では「カジメン」「パパママ育休プラス」の認知が高くなっている。

図20 「男性の育児参加の推進」を目的としたフレーズの認知度  
(n=1,450)

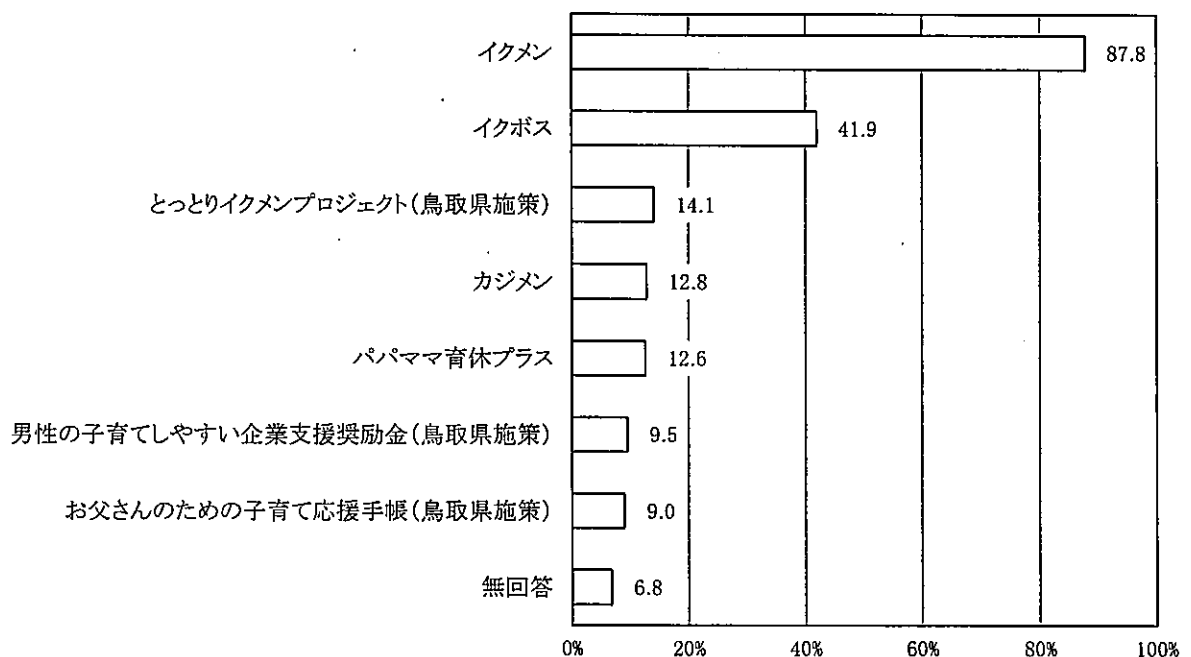
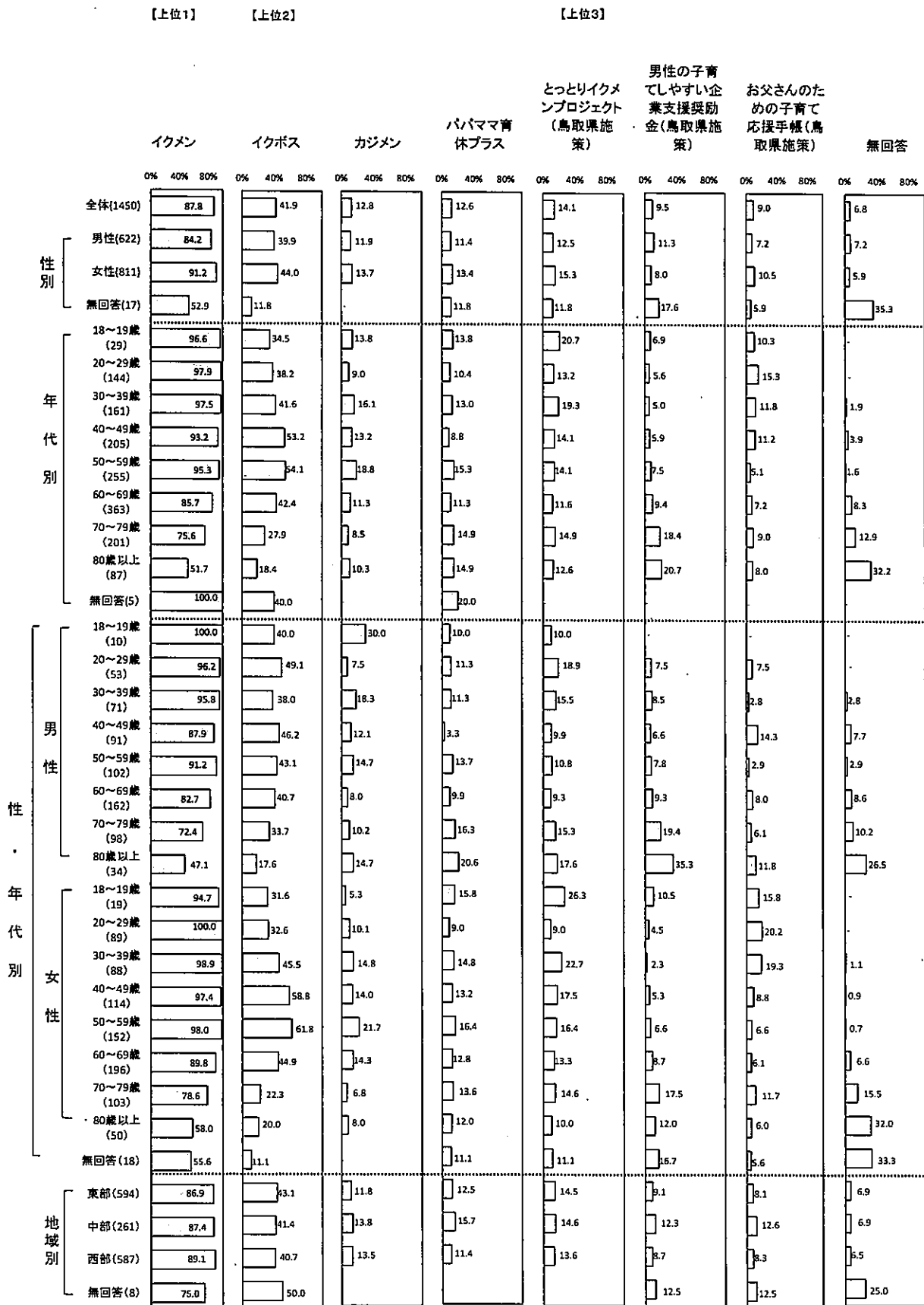


図 21 「男性の育児参加の推進」を目的としたフレーズの認知度



問6 あなたは、男性が育児に積極的に参加していくことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

～良いことだと感じている人が約9割～

男性が育児に積極的に参加していくことについて、「とても良いことだと思う」が49.1%、「良いことだと思う」が38.4%と、良いことだと感じている人が87.5%と約9割ある。一方、「どちらかといえばあまり良くないと思う」が0.8%、「良くないと思う(必要性がないと思う)」が0.2%と否定的な意見は1.0%にとどまっている。

年代別で見ると、「とても良いことだと思う」という意見は年齢が低くなるにしたがって高い割合となっている。

性・年代別で見ると、男性では20～30歳代、50歳代が良いことだとの認識が高く、女性では20～60歳代の幅広い年齢層で良いことだとの認識が高くなっている。

図22 男性が育児に積極的に参加していくこと  
(n=1,450)

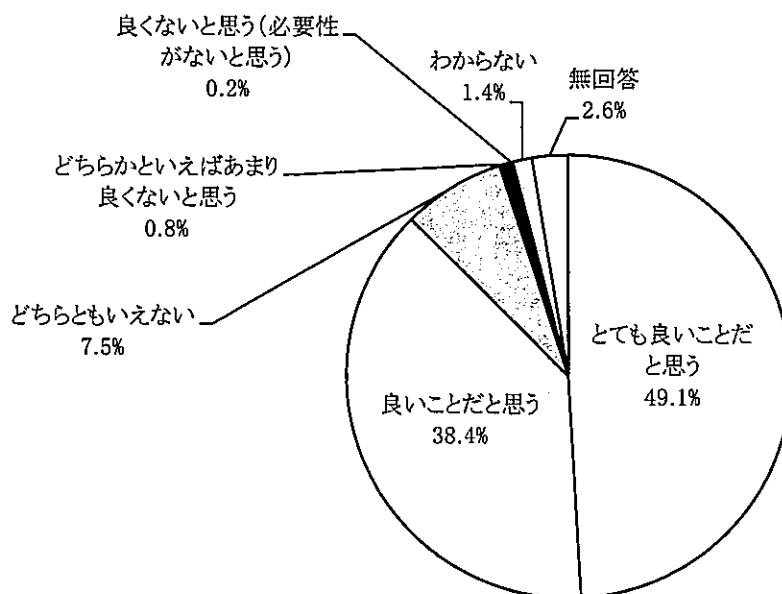
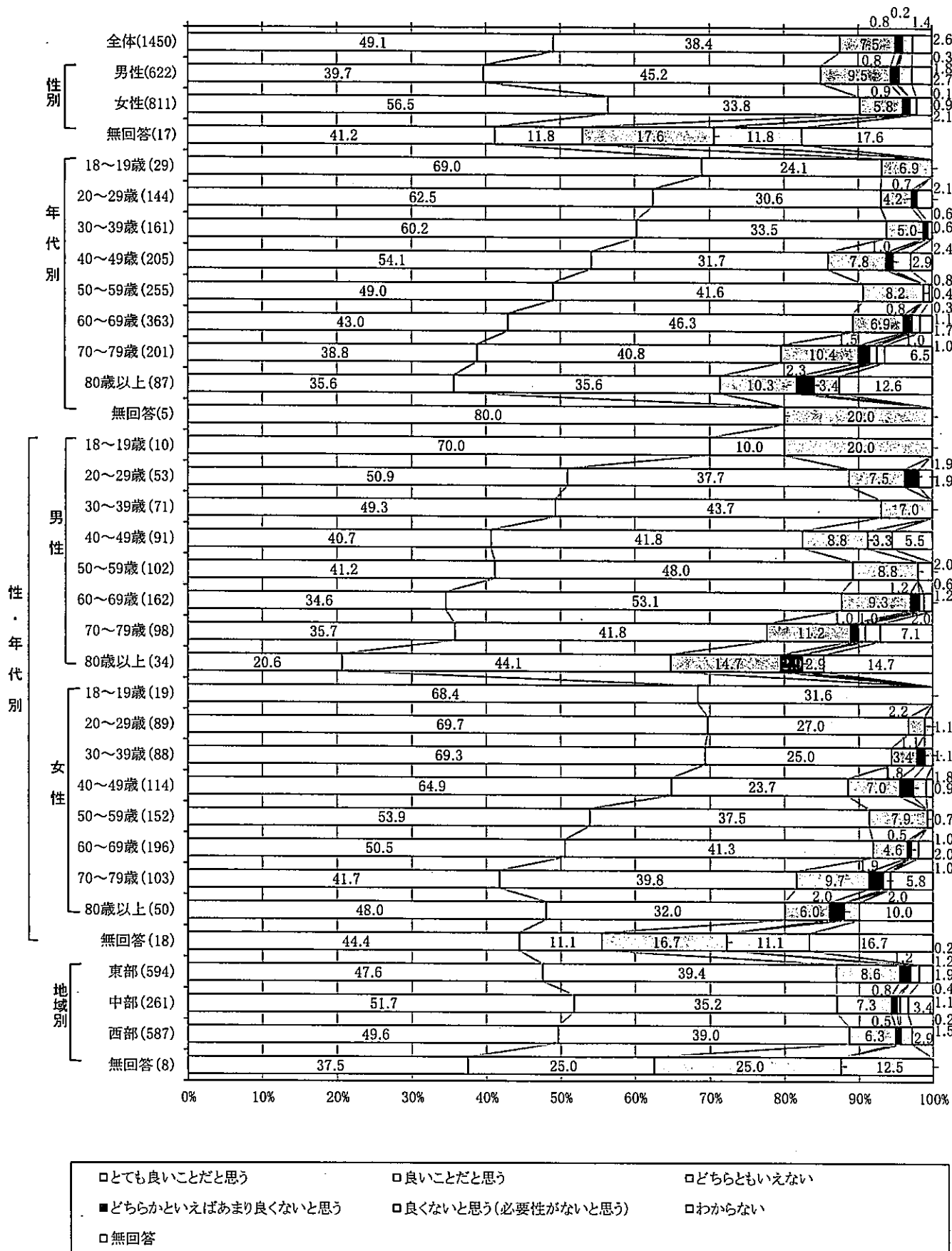


図23 男性が育児に積極的に参加していくことについて



問7 男性の育児参加を促進するために、行政がとるべき必要な施策は何だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

～男性の育児参加休暇取得に関しての企業・家庭に対する経済的支援や

男性の育児参加休暇の義務化が必要～

男性の育児参加促進のための必要な施策は、上位項目は「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」が48.7%、「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての家庭に対する経済的支援(補助金制度)」が48.6%、「男性の育児参加休暇(育児休業)取得の義務化」が44.6%と続き、『企業・家庭への経済的支援、育児休暇の義務化を必要』とする意見が多くみられる。

年代別でみると、20～30歳代で「男性の育児参加休暇(育児休業)取得の義務化」「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての家庭に対する経済的支援(補助金制度)」が高い。

性・年齢別でみると、男性の30歳代、60歳代で「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」、20～30歳代では「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての家庭に対する経済的支援(補助金制度)」の割合が高く、女性では20～30歳代で「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度)」「男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての家庭に対する経済的支援(補助金制度)」、10～40歳代で「ワークライフバランスを実現できる労働環境整備の手助け」の割合が高くなっている。

図24 男性の育児参加を促進するために、行政がとるべき施策  
(n=1,450)

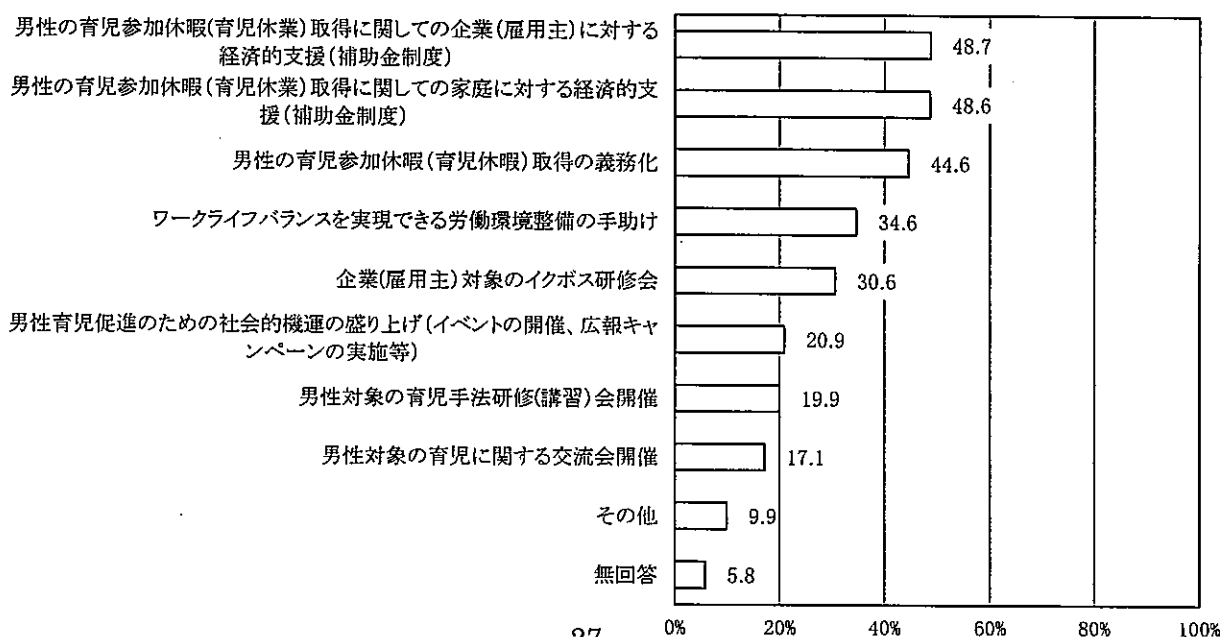
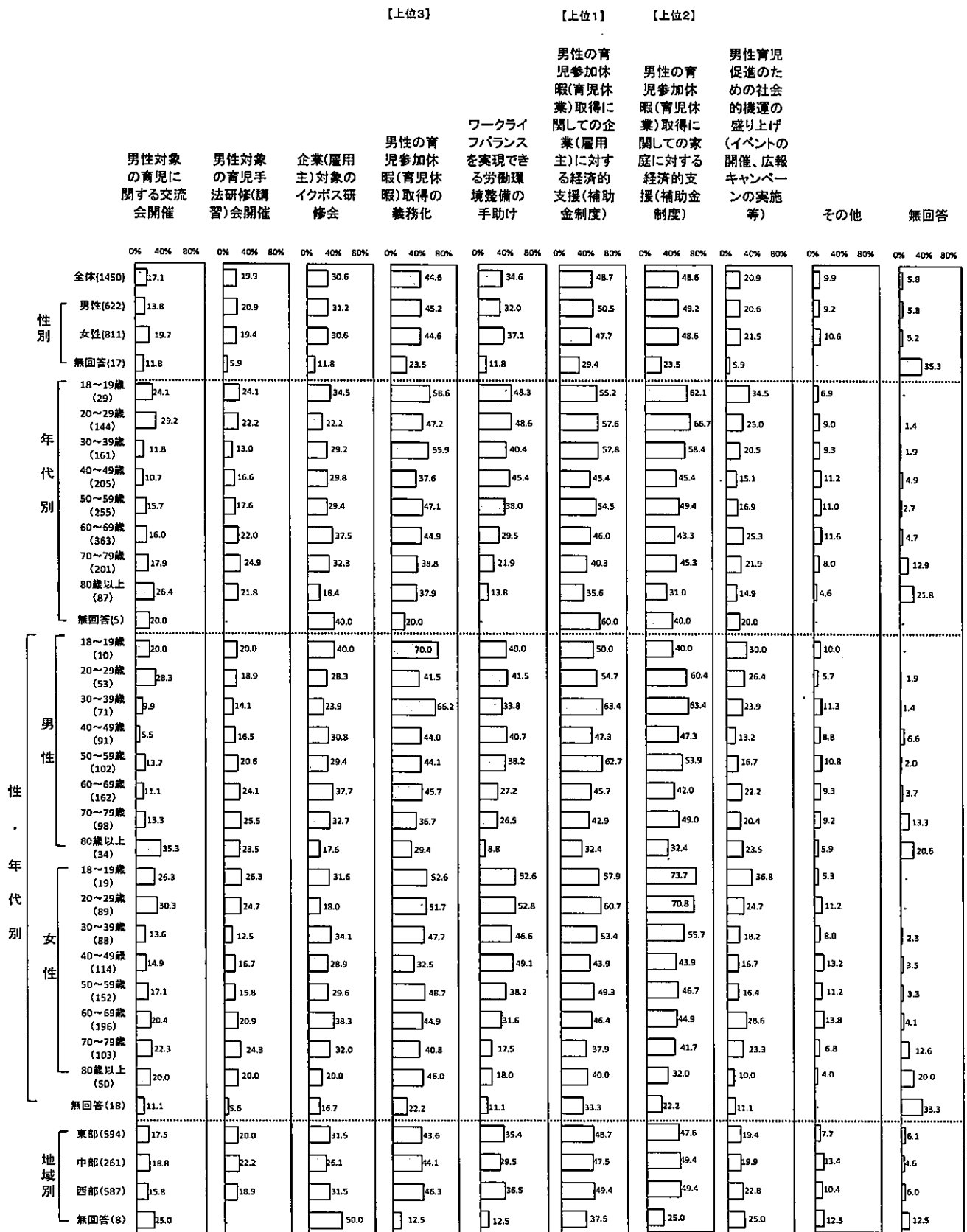




図 25 男性の育児参加を促進するために、行政がとるべき施策



問8 鳥取県内の男性の育児休業取得率は3%未満です。男性の育児休業取得が進まない要因は何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「経営者、上司等の理解不足により、育児参加休暇(育児休業)の取得がしづらいため」  
 「所得が下がるなど経済的に負担」「子育て＝女性の役割という意識」が上位～

男性の育児休業取得が進まない要因は、「経営者、上司等の理解不足により、育児参加休暇(育児休業)の取得がしづらいため」が49.7%と最も多く、次いで「所得が下がるなど経済的に負担となるため」が47.3%、「子育て＝女性の役割という意識があるため」が43.4%と続き、『経営者、上司の理解不足や所得への影響面、意識面を要因とする意見』が多くみられる。

性別でみると、「子育て＝女性の役割という意識があるため」は男性に比べ女性の割合が高くなっている。

年代別でみると、50～60歳代は「経営者、上司等の理解不足により、育児参加休暇(育児休業)の取得がしづらいため」、20～50歳代では「所得が下がるなど経済的に負担となるため」の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、男性の30歳代、50～70歳代は「経営者、上司等の理解不足により、育児参加休暇(育児休業)の取得がしづらいため」、20～60歳代は「所得が下がるなど経済的に負担となるため」の割合が高い。女性の50～60歳代は「男性が長時間労働等により育児に従事する時間が確保できないため」、20歳代・40～60歳代は「経営者、上司等の理解不足により、育児参加休暇(育児休業)の取得がしづらいため」、20～50歳代では「所得が下がるなど経済的に負担となるため」の割合が高くなっている。

図26 男性の育児休業取得が進まない要因  
(n=1,450)

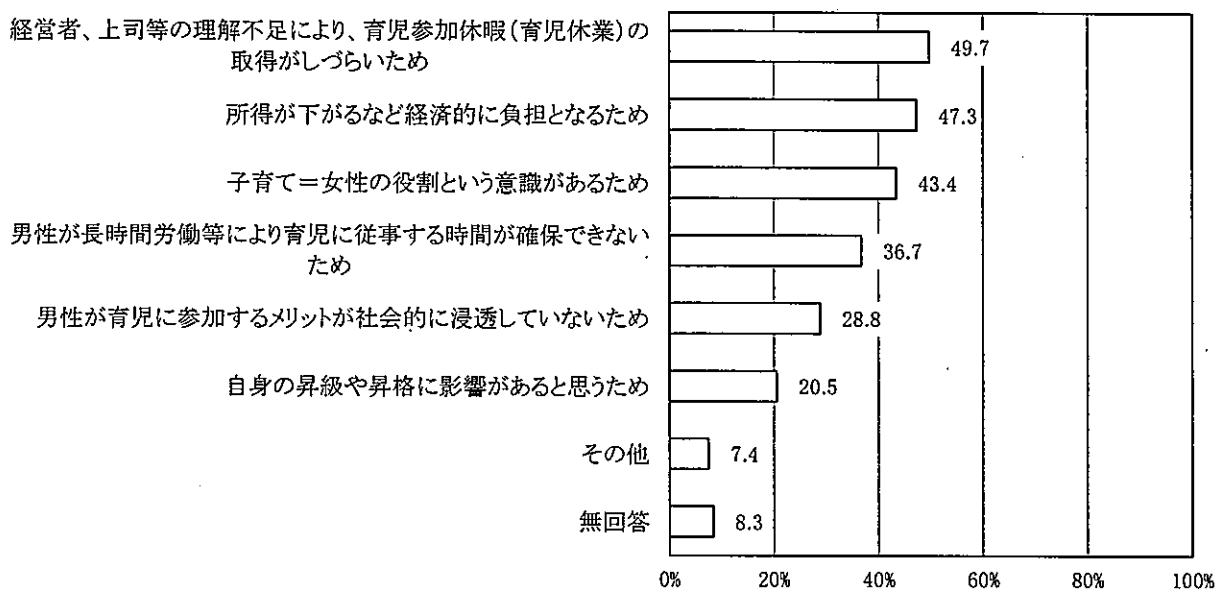
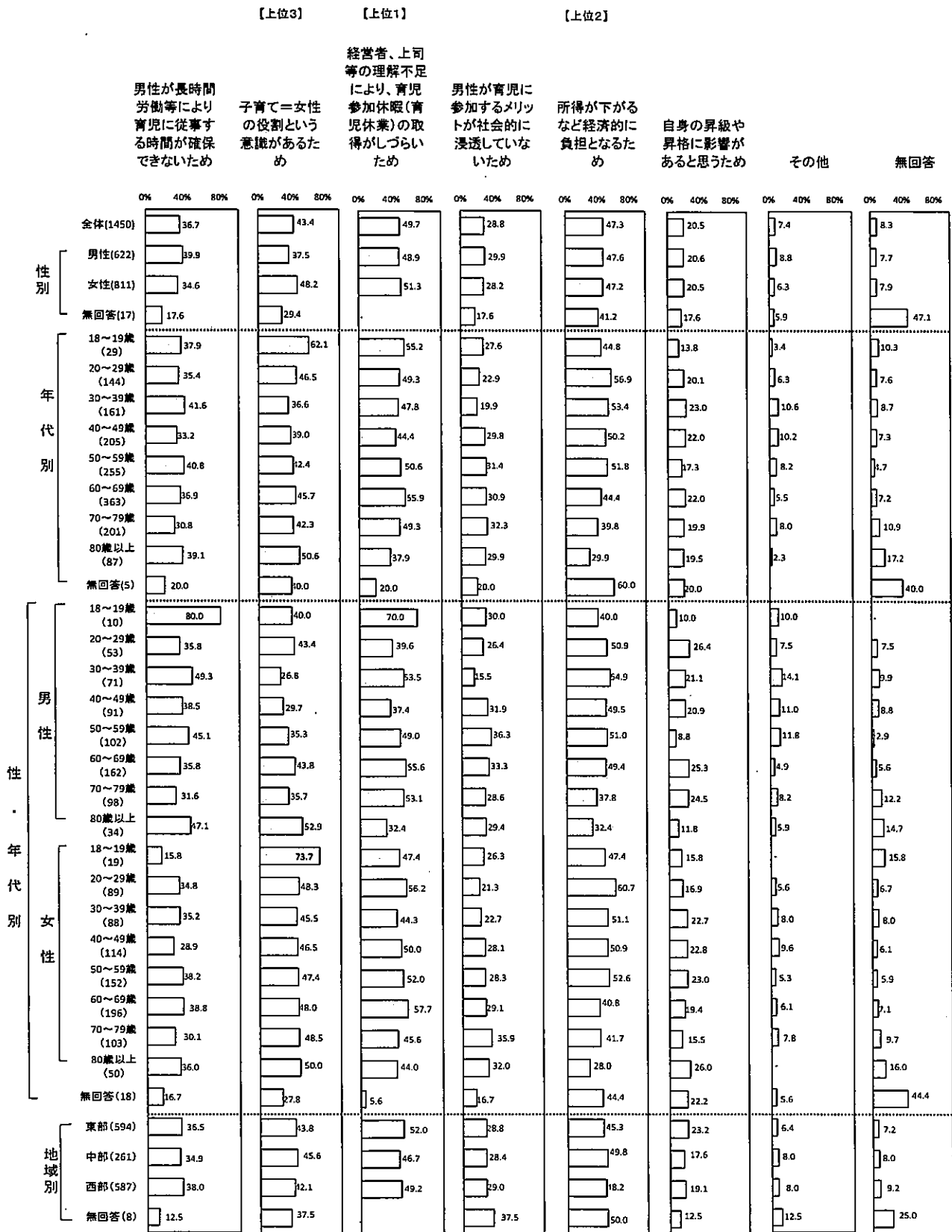


図 27 男性の育児休業取得が進まない要因



## <女性の活躍推進について>

問9 あなたは、次の言葉をご存知ですか。それぞれひとつずつに○をしてください。

～認知度は「ワーク・ライフ・バランス」が約3割、「男女共同参画社会」が約5割～

ワーク・ライフ・バランスの認知度について、「知っている」が33.0%、一方、「知らない」が29.9%と共に約3割である。

男女共同参画社会の認知度について、「知っている」が54.1%と約5割強ある。一方、「知らない」が11.2%と約1割となっている。

年代別でみると、20歳代・40歳代で「ワーク・ライフ・バランス」の認識が高く、また20歳代・50歳代で「男女共同参画社会」の認識が高い。

性・年代別でみると、男性の20～50歳代で「ワーク・ライフ・バランス」の認識が高く、20歳代・50～60歳代で「男女共同参画社会」の認識が高い。女性の20歳代・40～50歳代で「ワーク・ライフ・バランス」の認識が高く、20歳代・40～60歳代で「男女共同参画社会」の認識が高くなっている。

図28 ワーク・ライフ・バランス  
(n=1,450)

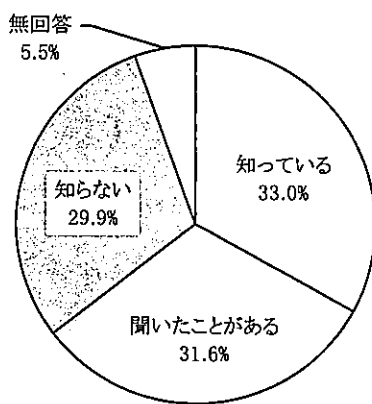


図29 男女共同参画社会  
(n=1,450)

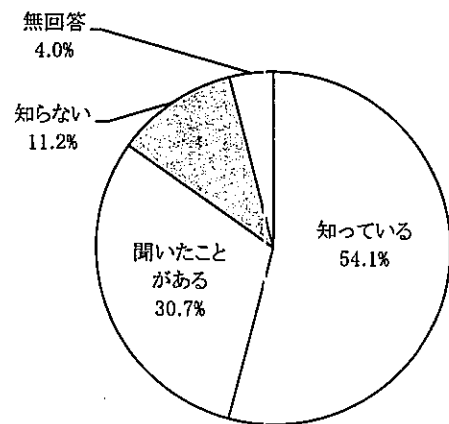


図30 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか

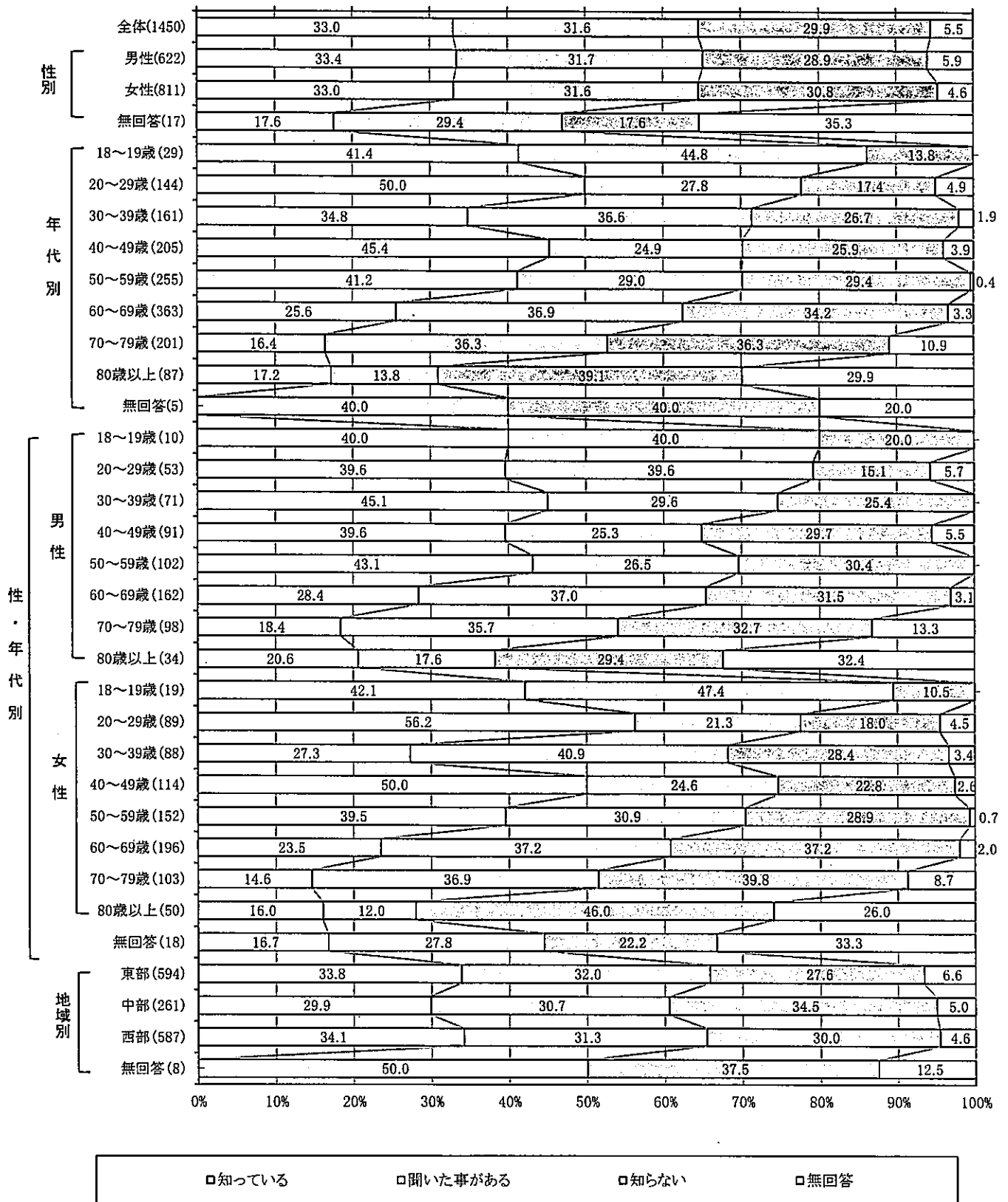
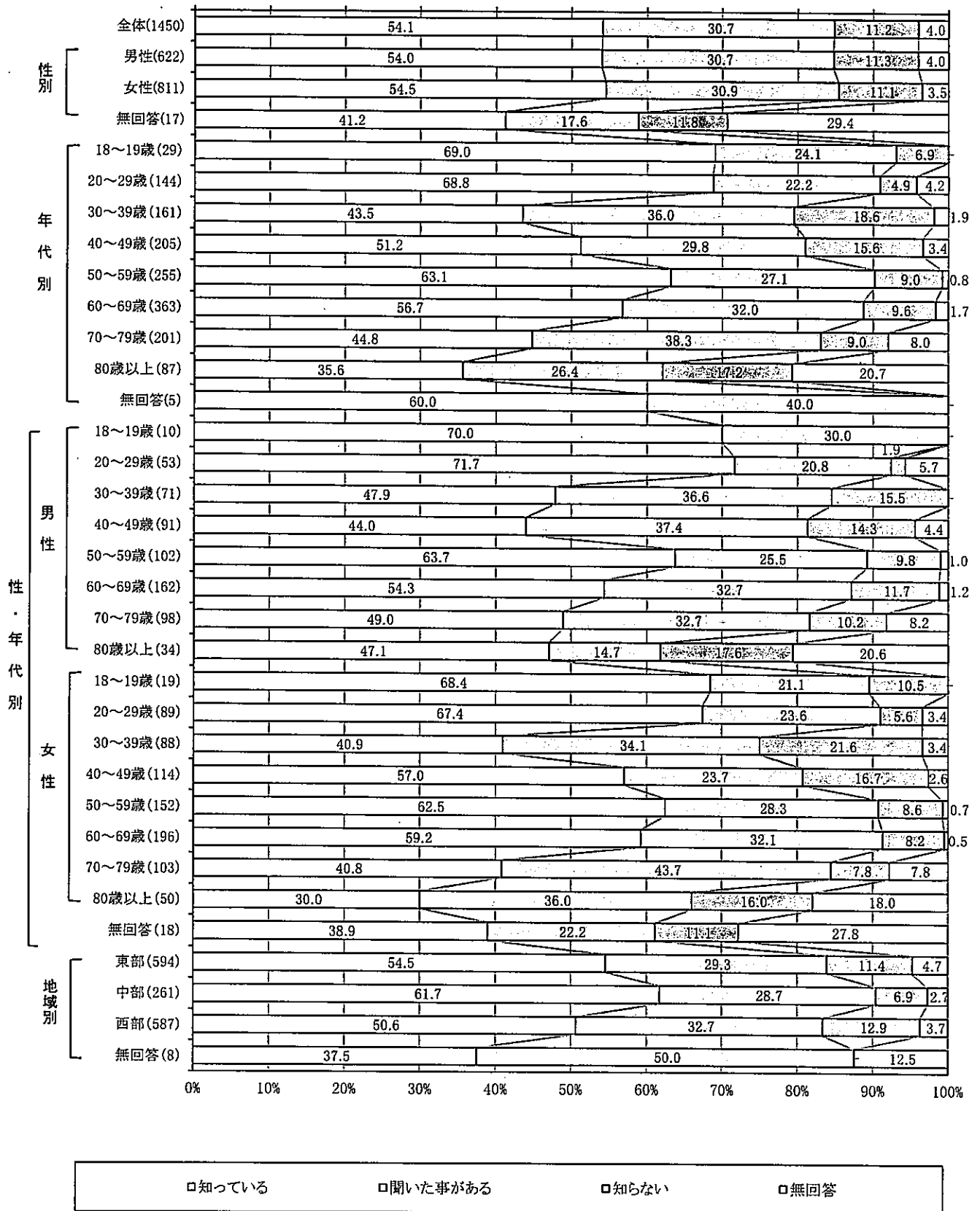


図31 「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか

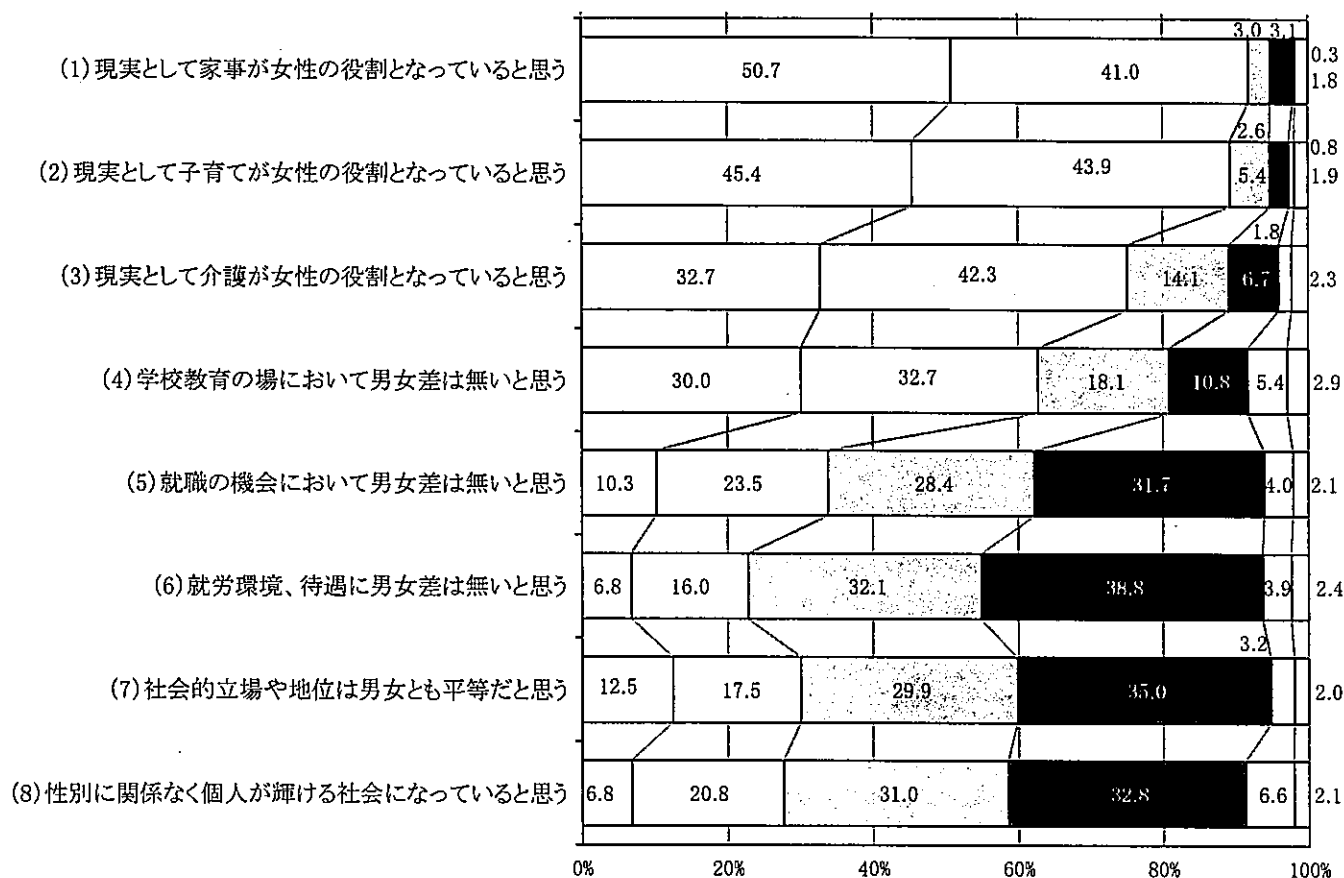


問10 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか、項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせると「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が91.7%（そう思う:50.7%、どちらかと言えばそう思う:41.1%）と最も割合が高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が89.3%（そう思う:45.4%、どちらかと言えばそう思う:43.9%）、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が75.0%（そう思う:32.7%、どちらかと言えばそう思う:42.3%）となっている。

図32 男女に関する役割 (n=1,450)



□そう思う □どちらかと言えばそう思う □どちらかと言えばそう思わない ■そう思わない □分からない □無回答

問11 女性が結婚や出産後も継続して仕事を続けるために行政の果たす役割はなんだと思いますか。(〇は3つまで)(行政としてすべきことがないと思われる方は「7」のみをお選びください)

～「保育園や幼稚園などの子育て施設や学童保育などの子ども預かり施設の充実」が最も多い～

女性が仕事を続けるための行政の果たす役割について、「保育園や幼稚園などの子育て施設や学童保育などの子ども預かり施設の充実」が67.8%と最も高く、次いで「男性の育児参加や育児休業・休暇取得の促進」が44.3%、「短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など多様な働き方の導入促進」が42.2%と続き、『子ども預かり施設の充実と企業への休業・休暇・多様な働き方の導入促進』が上位を占めている。

年代別でみると、10～20歳代は「男性の育児参加や育児休業・休暇取得の促進」、10～50歳代は「短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など多様な働き方の導入促進」の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、男性の10～30歳代は「男性の育児参加や育児休業・休暇取得の促進」、30～50歳代は「育児休業中の代替職員の確保支援」、40～50歳代は「短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など多様な働き方の導入促進」の割合が高い。女性の20～30歳代は「短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など多様な働き方の導入促進」、60～80歳代は「男性の育児参加や育児休業・休暇取得の促進」の割合が高くなっている。

図33 女性が結婚や出産後も継続して仕事を続けるための行政の役割 (n=1,450)

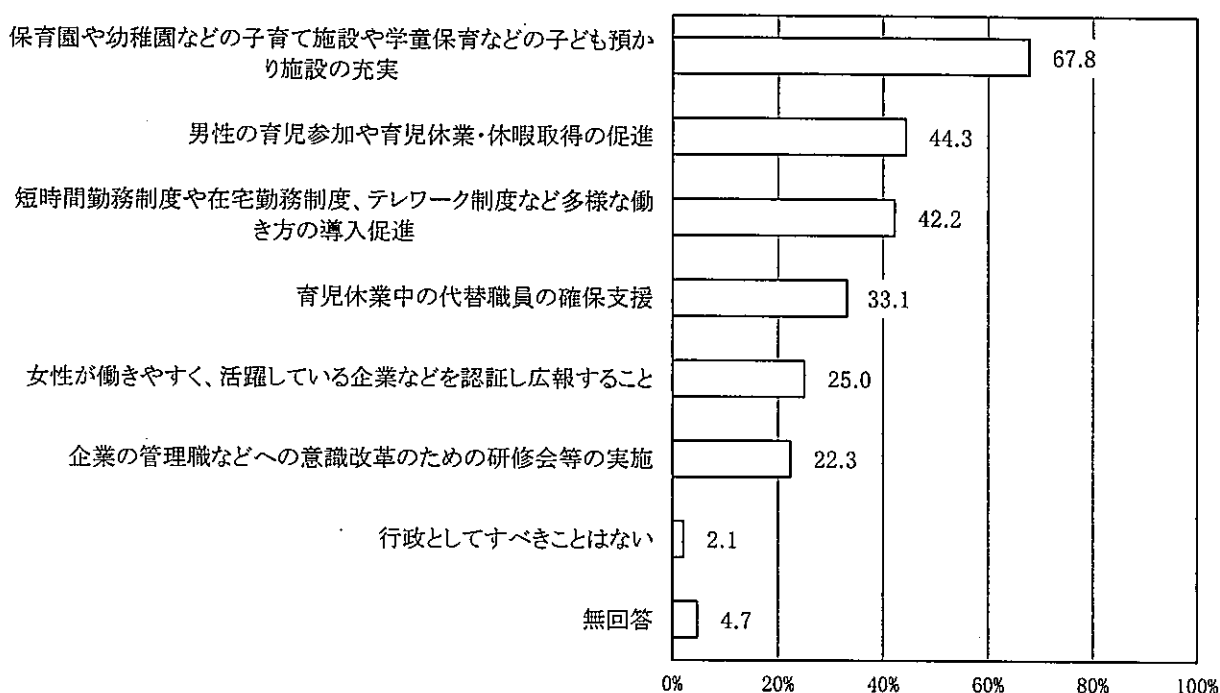
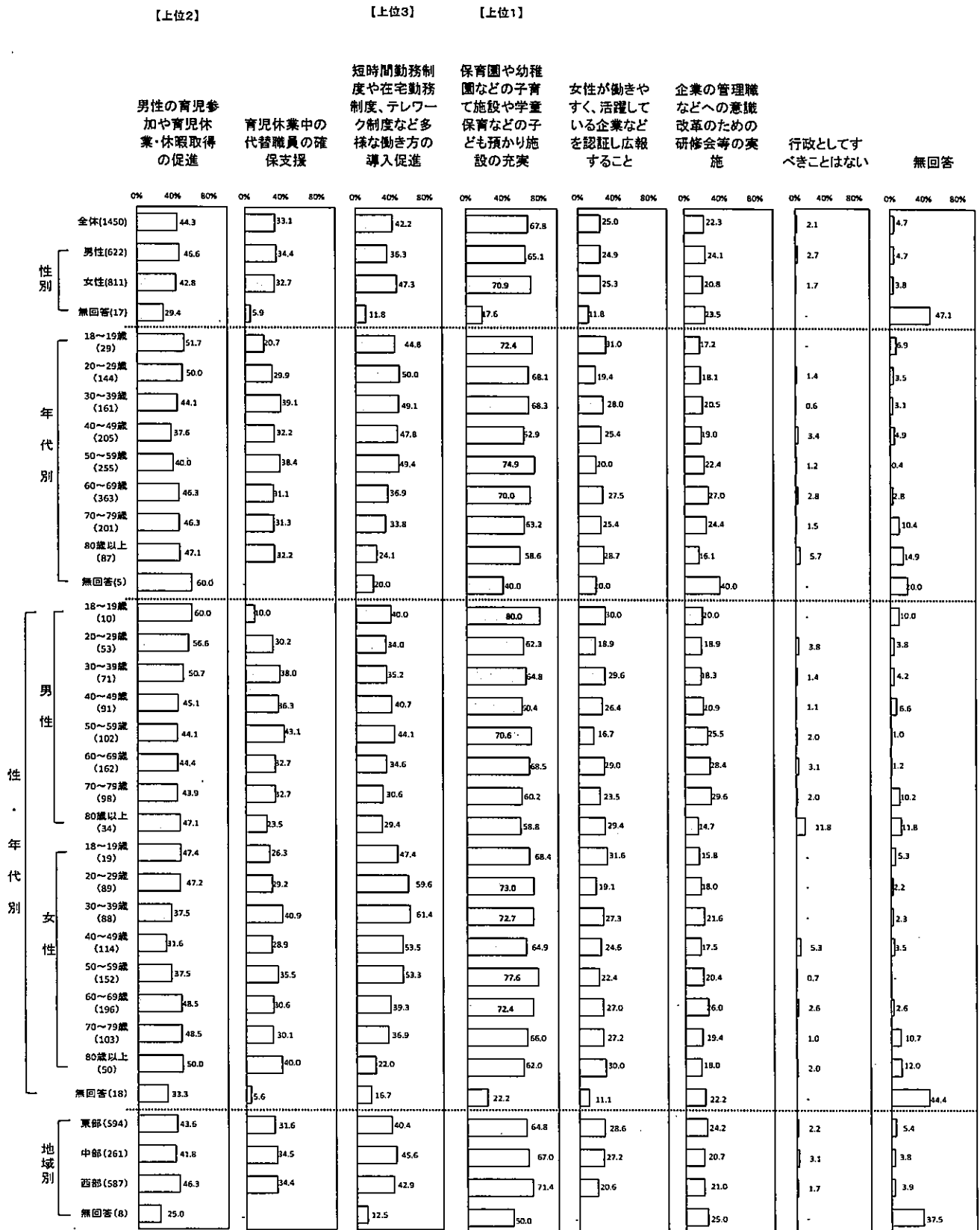




図 34 女性が結婚や出産後も継続して仕事を続けるために行政の果たす役割



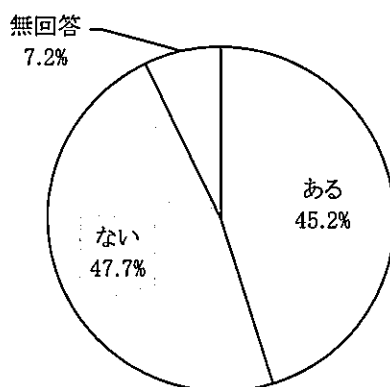
問12 あなたもしくはあなたの家族のうち、家族内での介護(要介護者への介護や身の回りの世話など)の経験がありますか。

～介護をしたのは主に「息子の嫁」「妻」「娘」の回答が高い～

家族内での介護の経験について、「ある」が45.2%、「ない」が47.7%となっている。

実際に介護をしたのは要介護者から見て、「息子の嫁」が25.6%と最も高く、次いで「妻」が14.4%、「娘」が13.4%と続いている。

図35 家庭内での介護の経験の有無  
(n=1,450)



問 12-1 実際に介護をしたのは要介護者からみて主にどなたですか。

図36 実際に介護したのは要介護者からみて主にどなた  
(n=655)

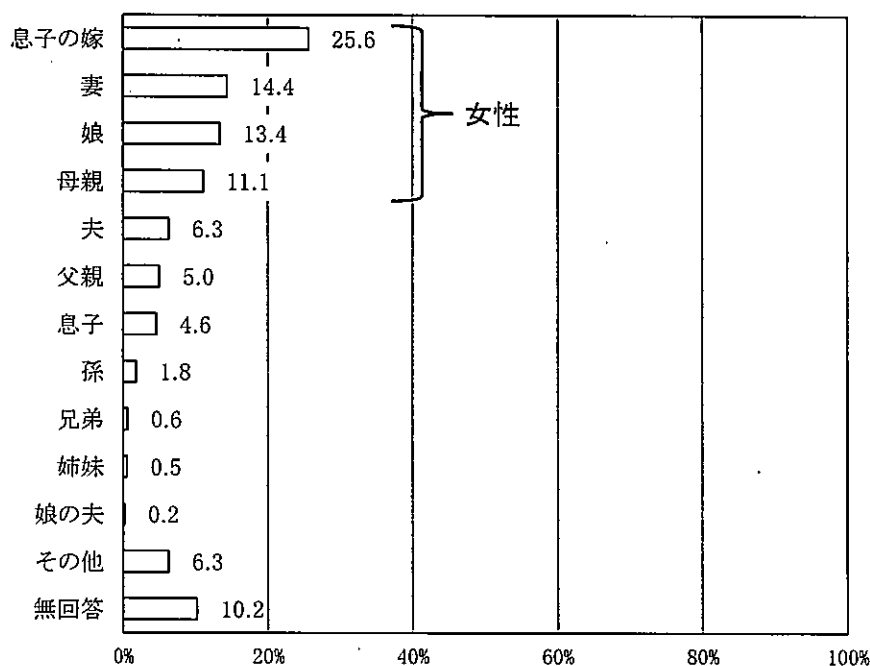
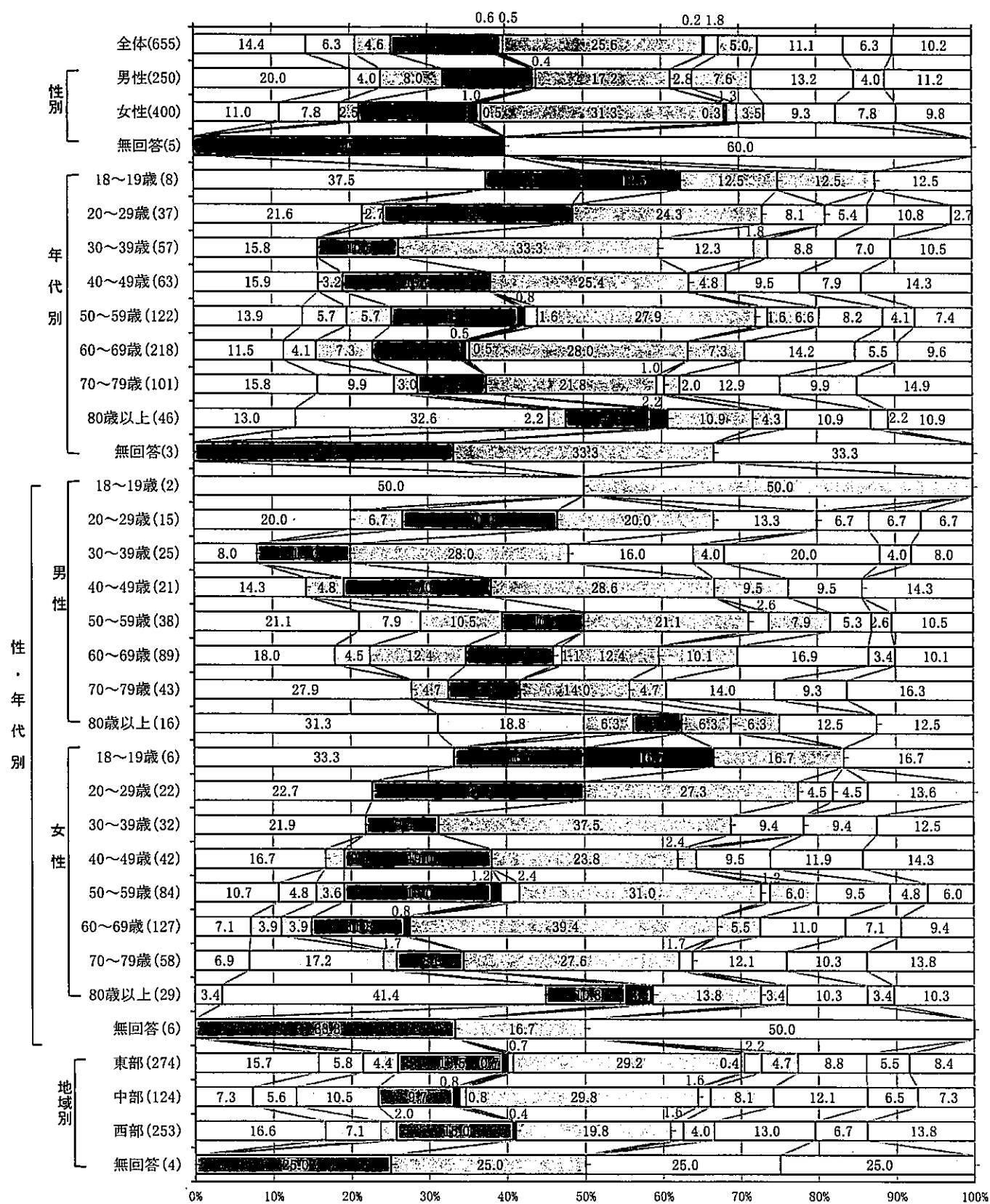


図37 実際に介護をしたのは要介護者からみて主にどなた



□妻 □夫 □息子 □娘 ■兄弟 □姉妹 □息子の嫁 □娘の夫 □孫 □父親 □母親 □その他 □無回答

問 12-2 介護をするにあたり、介護をした方の仕事への影響

～「退職した」「勤務時間の変更をした」～

介護をした方の仕事への影響は、「もともと仕事をしていなかった」(31.3%)を除き、「退職した」が16.2%、「勤務時間の変更をした」が14.4%とともに高い割合となっている。

図38 介護をした方の仕事への影響  
(n=655)

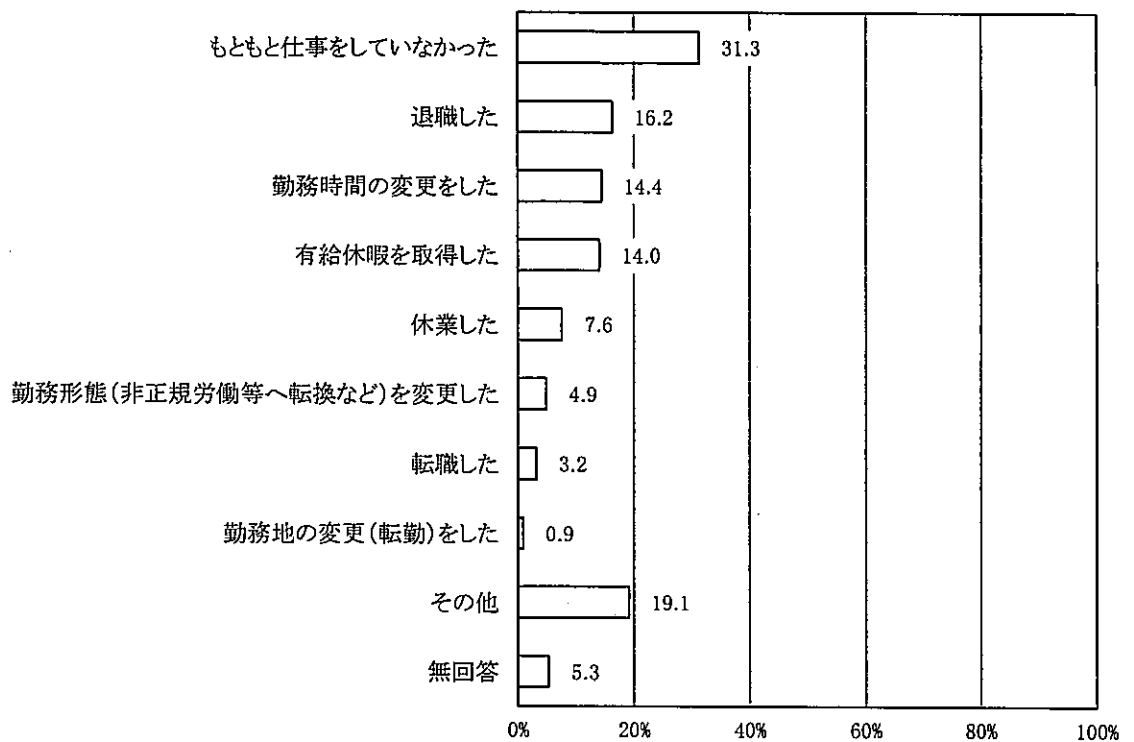
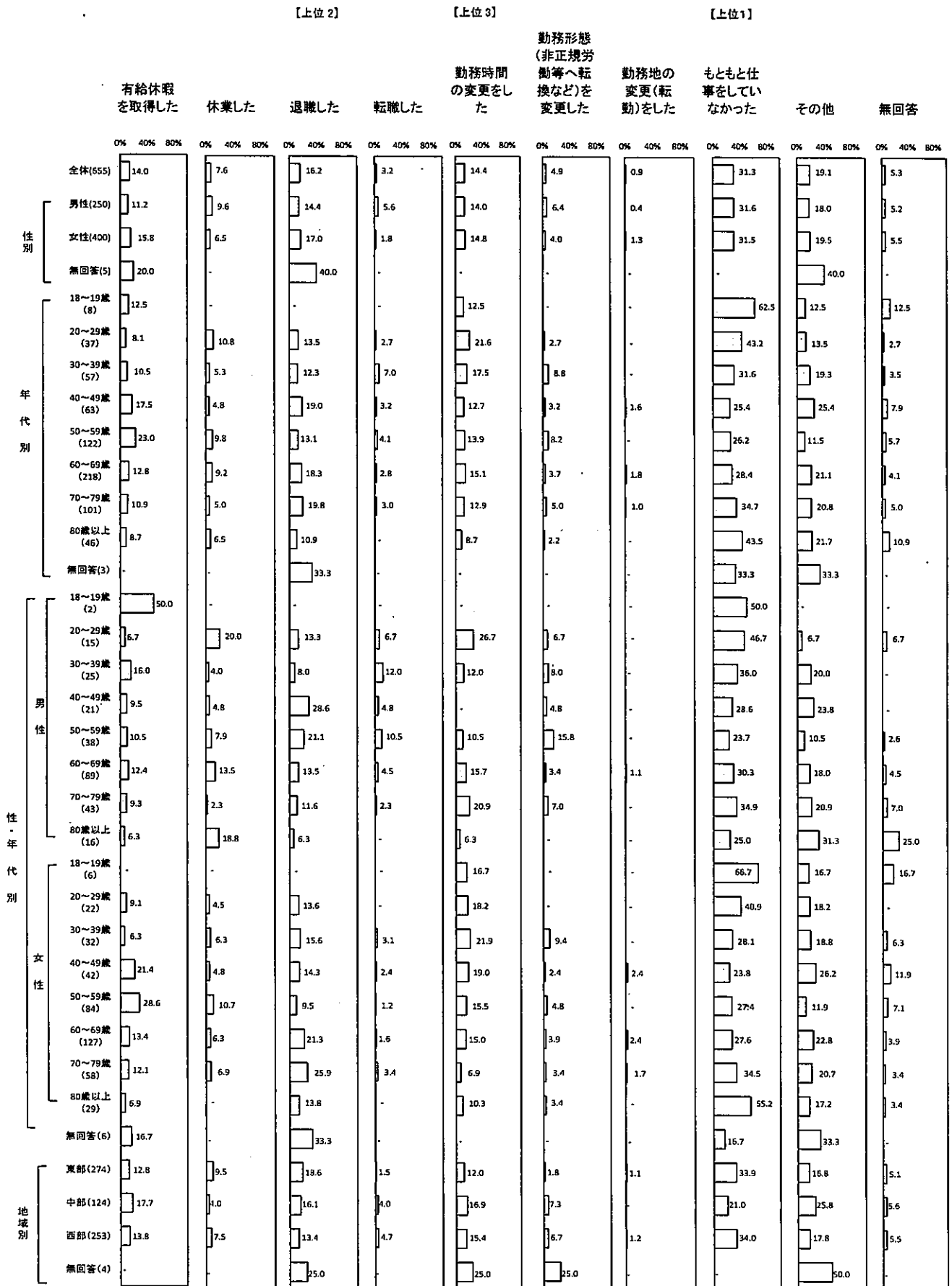


図 39 介護をした方の仕事への影響



問13 あなたの家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいこと(現在不十分だと思うもの)をお選びください。介護の経験がある場合はその経験から、介護の経験が無い場合は見聞きした範囲でお答えください。(〇は3つまで)

～「要介護者それぞれにあわせた各種サービスの増加」「介護サービスに係る情報提供・相談支援体制の充実」を望む～

家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいことは、「要介護者等それぞれにあわせた各種サービスの増加」が52.0%、「介護サービスに係る情報提供・相談支援体制の充実」が51.7%と共に高く、次いで「休暇を取得しやすい職場環境づくりの推進」が37.6%、「働く場における介護休業・休暇制度の整備支援」が35.1%と続き、『各種サービスの増加、情報提供・相談支援と休暇取得のための職場環境づくりと制度整備』への要望が大勢を占めている。

年代別でみると、50～70歳代は「介護サービスに係る情報提供・相談支援体制の充実」「要介護者等それぞれにあわせた各種サービスの増加」、10～50歳代は「休暇を取得しやすい職場環境づくりの推進」の割合が高い。

性・年代別でみると、男性の50～80歳代は「介護サービスに係る情報提供・相談支援体制の充実」、30～50歳代では「休暇を取得しやすい職場環境づくりの推進」が多くみられる。一方女性の30～70歳代は「要介護者等それぞれにあわせた各種サービスの増加」、20～30歳代では「短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など働く場における多様な働き方の導入促進」の割合が高くなっている。

図40 家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいこと  
(n=1,450)

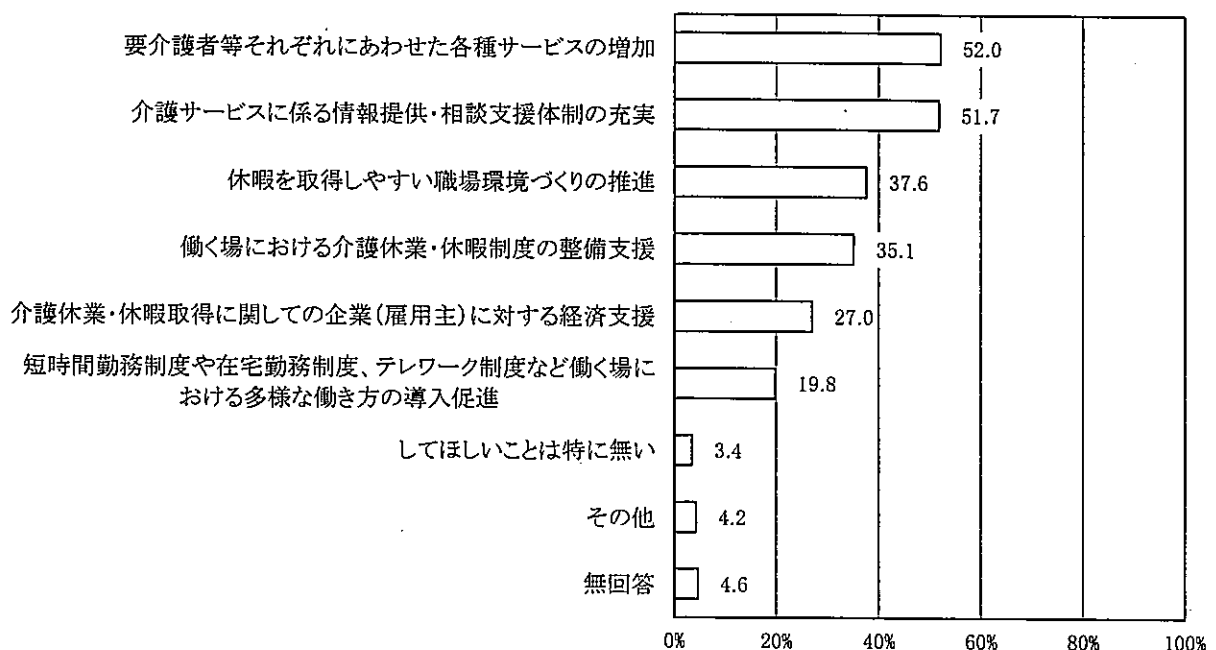
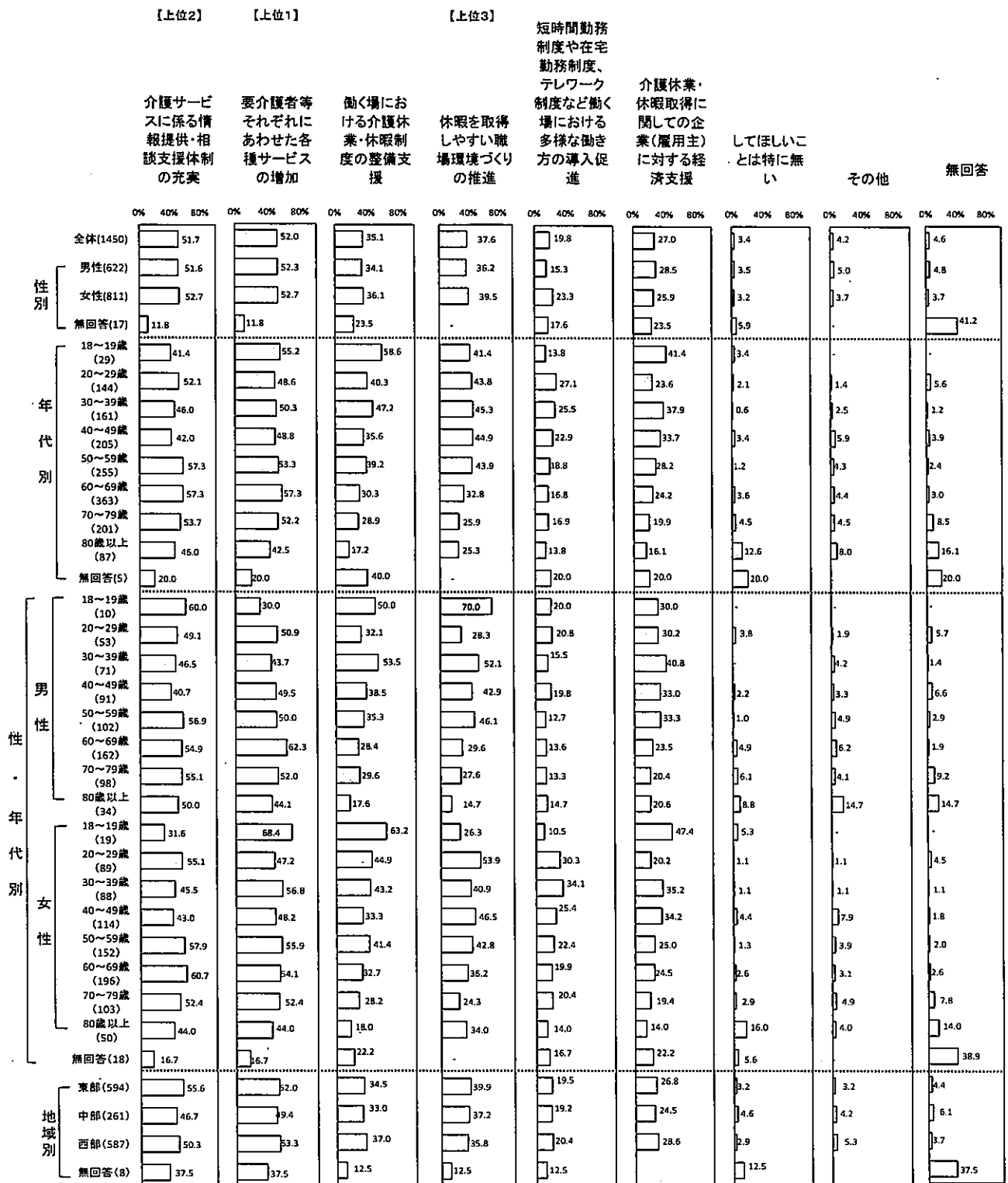


図 41 家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいこと



## <出生率について>

問14 鳥取県における希望出生率(1.95)を実現するために、次のどの項目を今後強化していくべきだと思いますか。あなたが重要だと思う項目を次の中からお選びください。(○は3つまで)  
(※希望出生率とは、結婚して子どもを産みたいと言う人の希望が叶えられた場合の出生率)

～「出産・育児で仕事を離れた方がスムーズに社会復帰できる環境や、男女ともに子育てしながら安心して働くことのできる職場環境の整備」「子どもを安心して預けられる体制の整備(保育所・認定子ども園などの増加)」を今後強化すべき～

鳥取県における希望出生率(1.95)を実現するために今後強化すべきことは、「出産・育児で仕事を離れた方がスムーズに社会復帰できる環境や、男女ともに子育てしながら安心して働くことのできる職場環境の整備」が51.3%、「子どもを安心して預けられる体制の整備(保育所・認定子ども園などの増加)」が50.8%と共に高く、次いで「保育料の減免など、子育て世帯への経済的支援」が44.9%と続いている。

性別でみると、男性は、「保育料の減免など、子育て世帯への経済的支援」女性は、「不妊治療にかかる費用の経済的支援」「出産・育児で仕事を離れた方がスムーズに社会復帰できる環境や、男女ともに子育てしながら安心して働くことのできる職場環境の整備」が高くなっている。

性・年代別でみると、男性の50～70歳代で「子どもを安心して預けられる体制の整備(保育所・認定子ども園などの増加)」、20～60歳代で「保育料の減免など、子育て世帯への経済的支援」が高く、女性の30～40歳代で「不妊治療にかかる費用の経済的支援」、10～30歳代で「保育料の減免など、子育て世帯への経済的支援」が高くなっている。

図42 希望出生率の実現のために、強化していくべき項目  
(n=1,450)

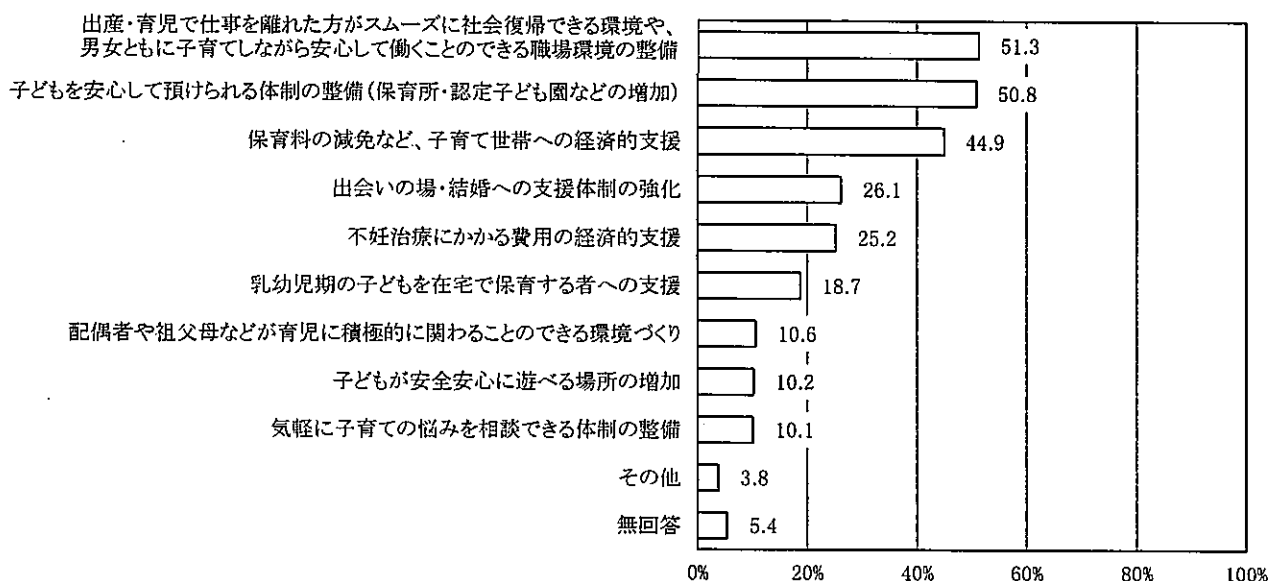
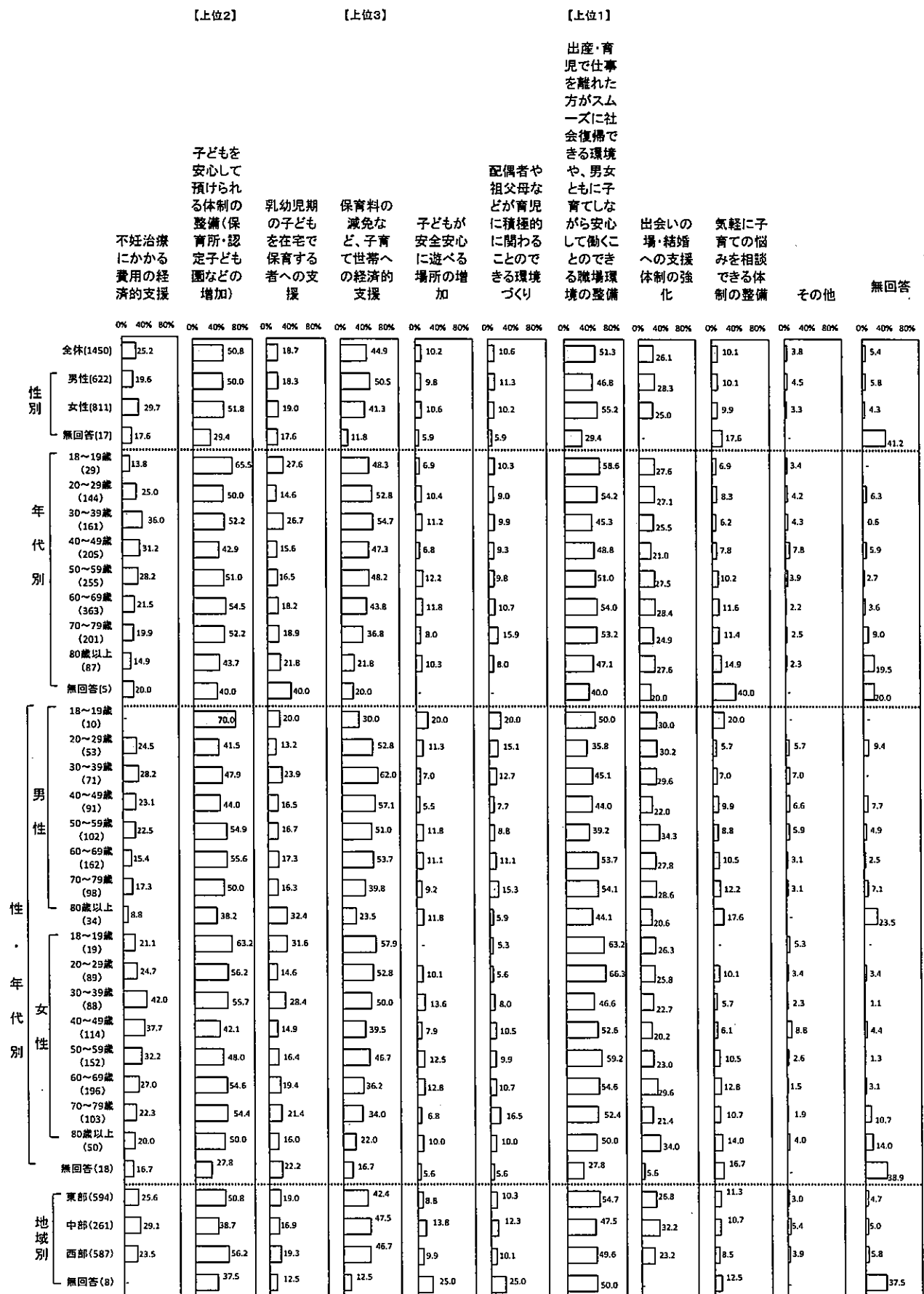




図 43 希望出生率の実現のために、強化していくべき項目



問15 若い世代の未婚化、晩婚化傾向に歯止めをかけるため、行政で取り組むべきと思われる施策はどれだと思いますか。(〇は3つまで)

～「出会いの機会の創出や結婚に関する相談受付などによる若い世代の結婚サポート」が最も高い～

若い世代の未婚化、晩婚化傾向に対する行政の施策は、「出会いの機会の創出や結婚に関する相談受付などによる若い世代の結婚サポート」が47.8%と最も高く、次いで「鳥取の充実した子育て支援策や人生収支(ライフコスト)からみた鳥取で暮らすメリットなどの情報を県内外に発信」が40.2%、「若い夫婦向けの、家財や土地、職などの斡旋や補助」が38.8%と続いている。

年代別でみると、40～70歳代で「鳥取の充実した子育て支援策や人生収支(ライフコスト)からみた鳥取で暮らすメリットなどの情報を県内外に発信」、50～70歳代で「若年層でも結婚子育てのできる環境をアピールする取組」、10～30歳代で「若い夫婦向けの、家財や土地、職などの斡旋や補助」の割合が高い。

性・年代別でみると男性の30歳代、50～70歳代は「出会いの機会の創出や結婚に関する相談受付などによる若い世代の結婚サポート」、40～80歳代は「鳥取の充実した子育て支援策や人生収支(ライフコスト)からみた鳥取で暮らすメリットなどの情報を県内外に発信」、女性の10～30歳代は「出会いの機会の創出や結婚に関する相談受付などによる若い世代の結婚サポート」、30～60歳代では「鳥取の充実した子育て支援策や人生収支(ライフコスト)からみた鳥取で暮らすメリットなどの情報を県内外に発信」の割合が高い。

図44 若い世代の未婚化、晩婚化傾向に歯止めをかけるための行政の取組み (n=1,450)

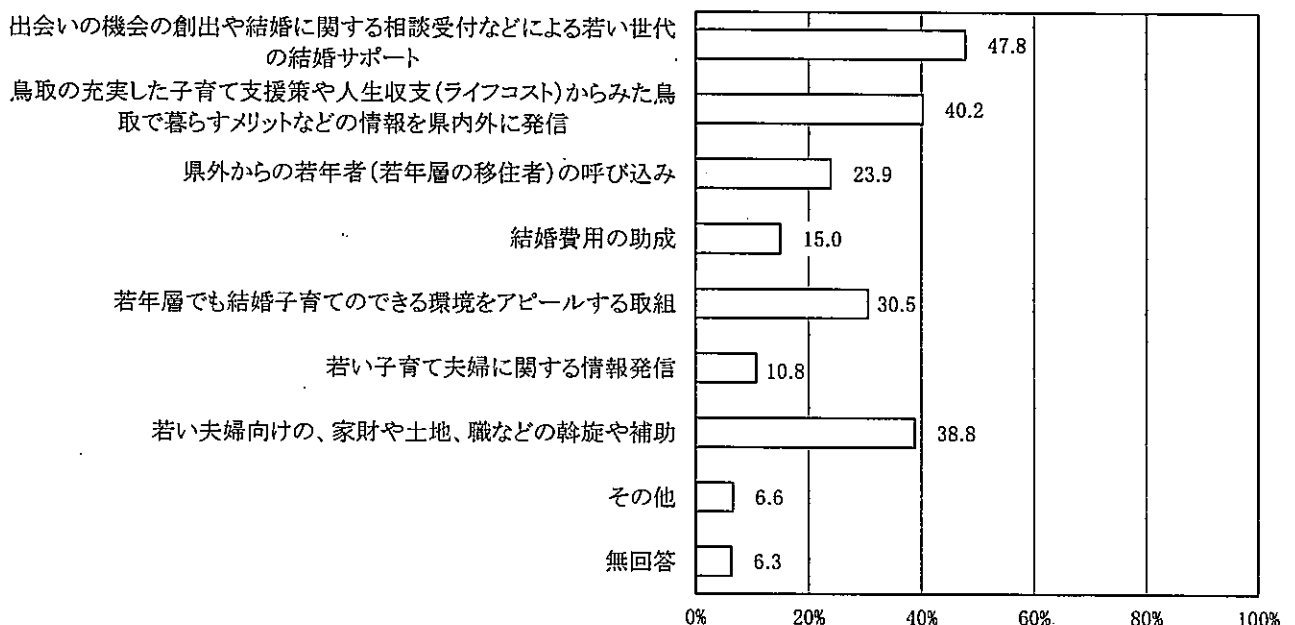
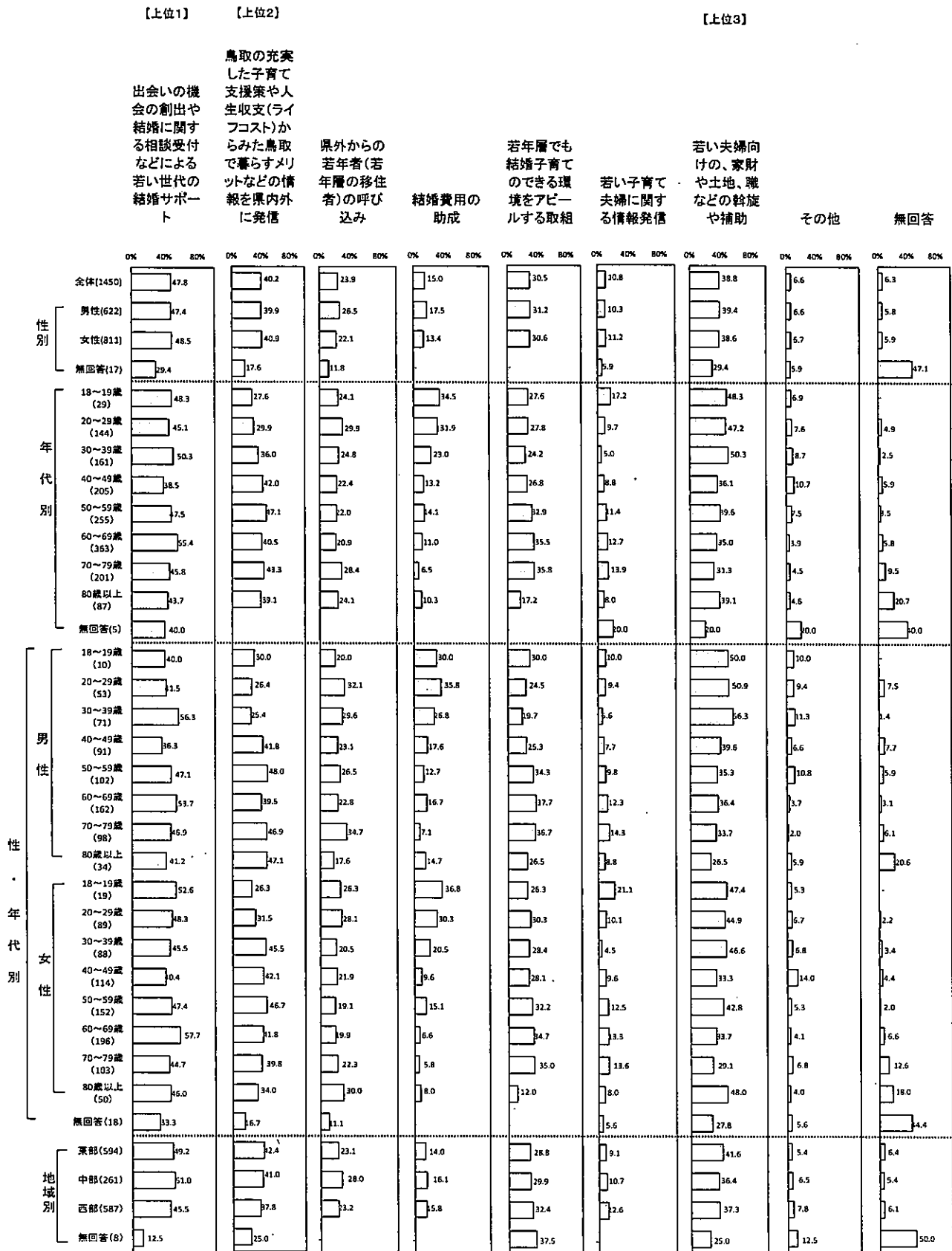


図 45 若い世代の未婚化、晩婚化傾向に歯止めをかけるための行政の取組み



<あなたの幸福度について>

問16 鳥取県に暮らして、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。

～「5普通」以上が約8割～

鳥取県に暮らしてあなたの幸福度について、「5普通」が27.4%と最も高く、「8」が18.9%、「7」が17.7%、「6」が11.2%と続き、「5普通」以上の回答は85.9%である。

図46 鳥取県に暮らして、「幸せ」ですか  
(n=1,450)

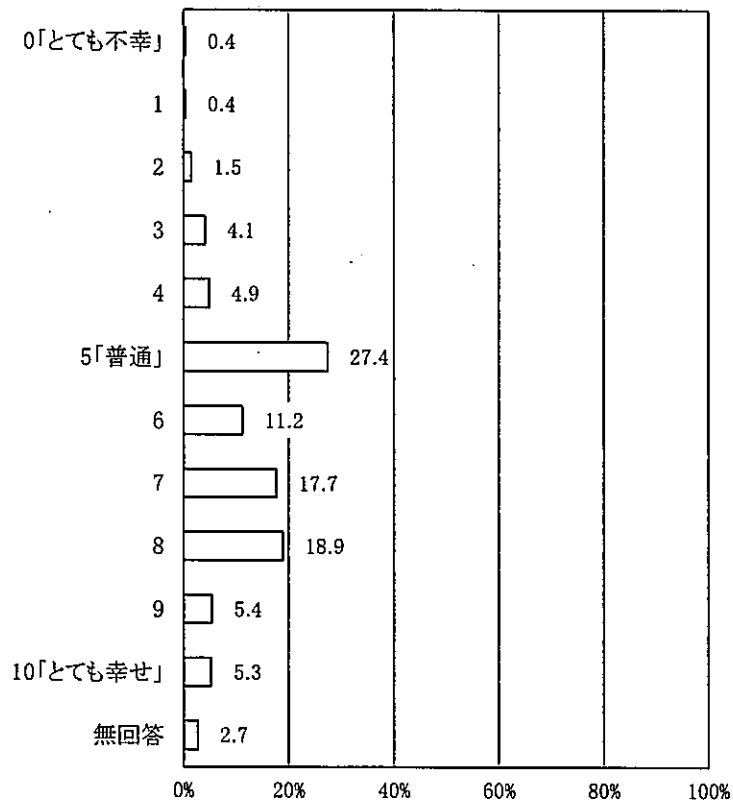
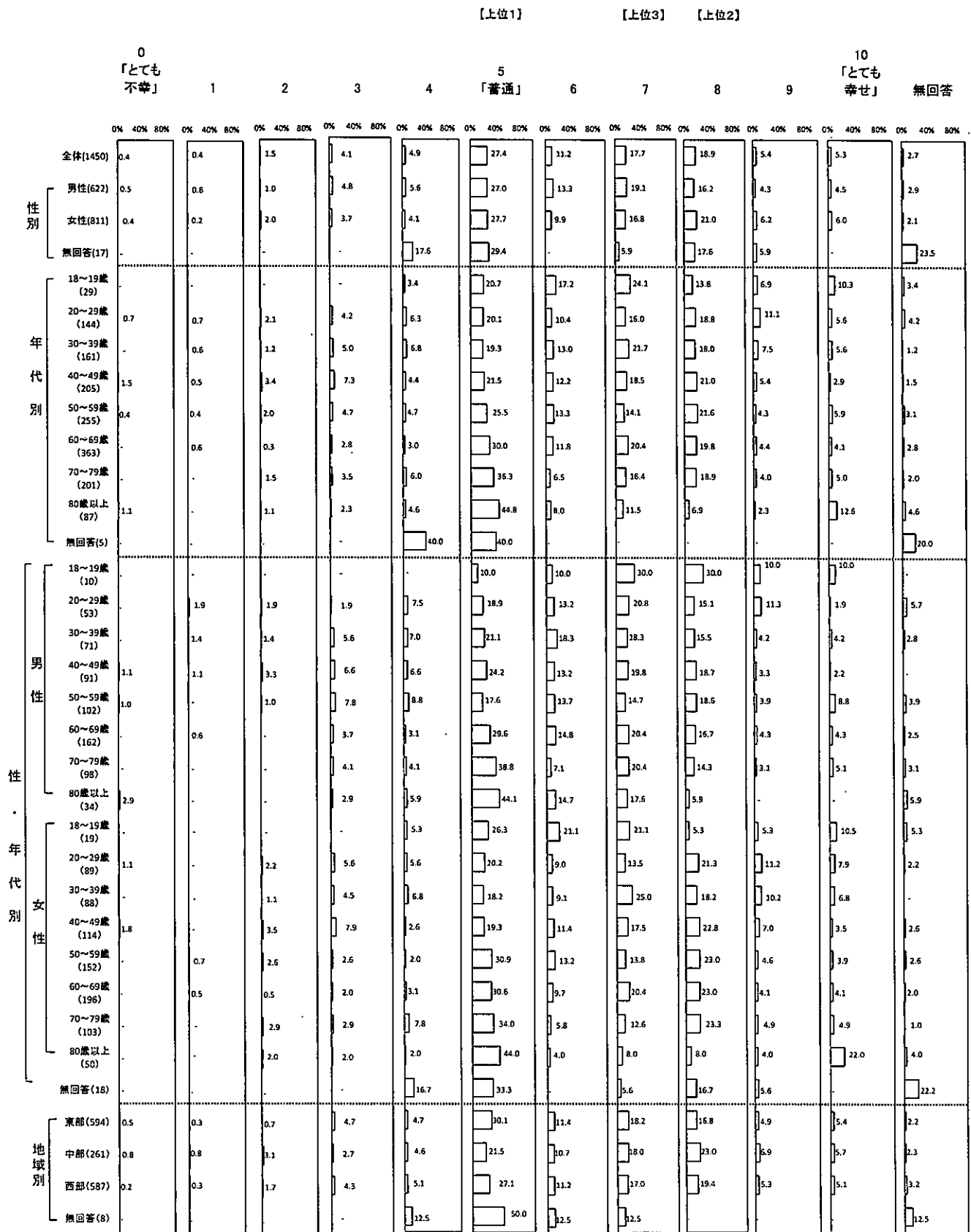


図 47 鳥取県に暮らして、「幸せ」ですか



問17 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することはなんですか。  
 (〇はいくつでも)

～「自身の健康の状況」「家計の状況」が6割以上～

幸福度を判断するときに重視することは、「自身の健康の状況」が64.1%と最も高く、次いで「家計の状況」が62.5%、「家族関係」が53.7%と続いている。

年代別でみると、30～60歳代は「家計の状況」、40～80歳代は「自身の健康の状況」、10～30歳代は「自由な時間(充実した余暇)」「友人関係」、10～50歳代は「精神的なゆとり」が高くなっている。

性・年代別でみると、男性の30～50歳代は「家計の状況」、20～30歳代は「自由な時間(充実した余暇)」、10～50歳代は「仕事(学校)の充実度」が高くなっている。一方、女性の30～60歳代は「家計の状況」、10～20歳代は「自由な時間(充実した余暇)」「職場(学校の人間関係)」、30～50歳代は「家族関係」が高くなっている。

図48 「幸福度」の判断で重視すること  
 (n=1,450)

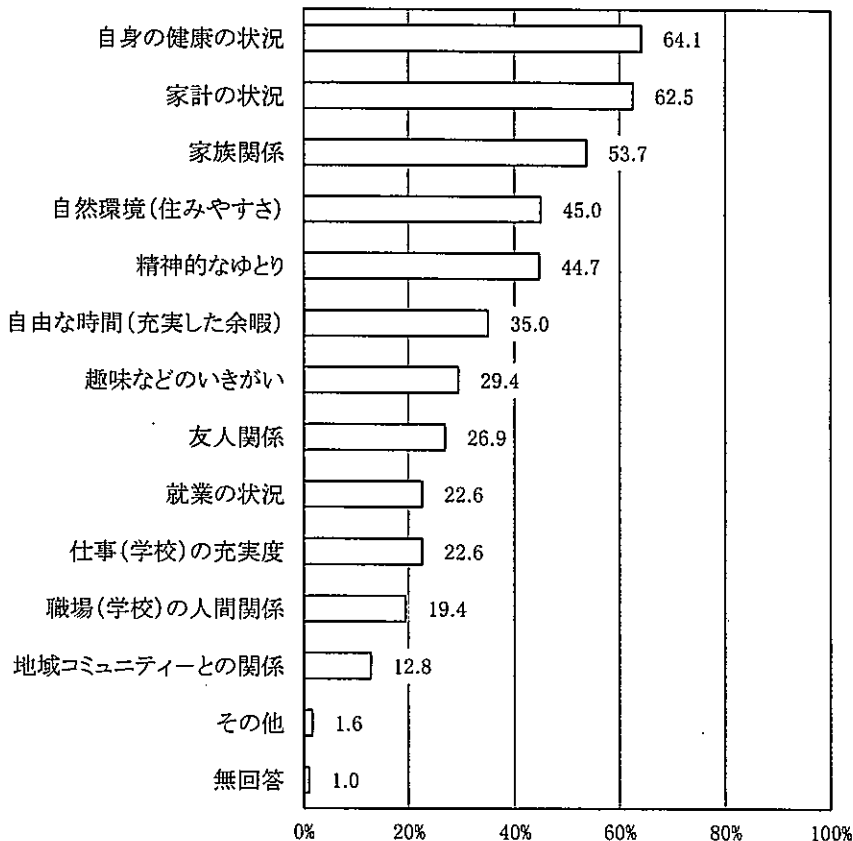
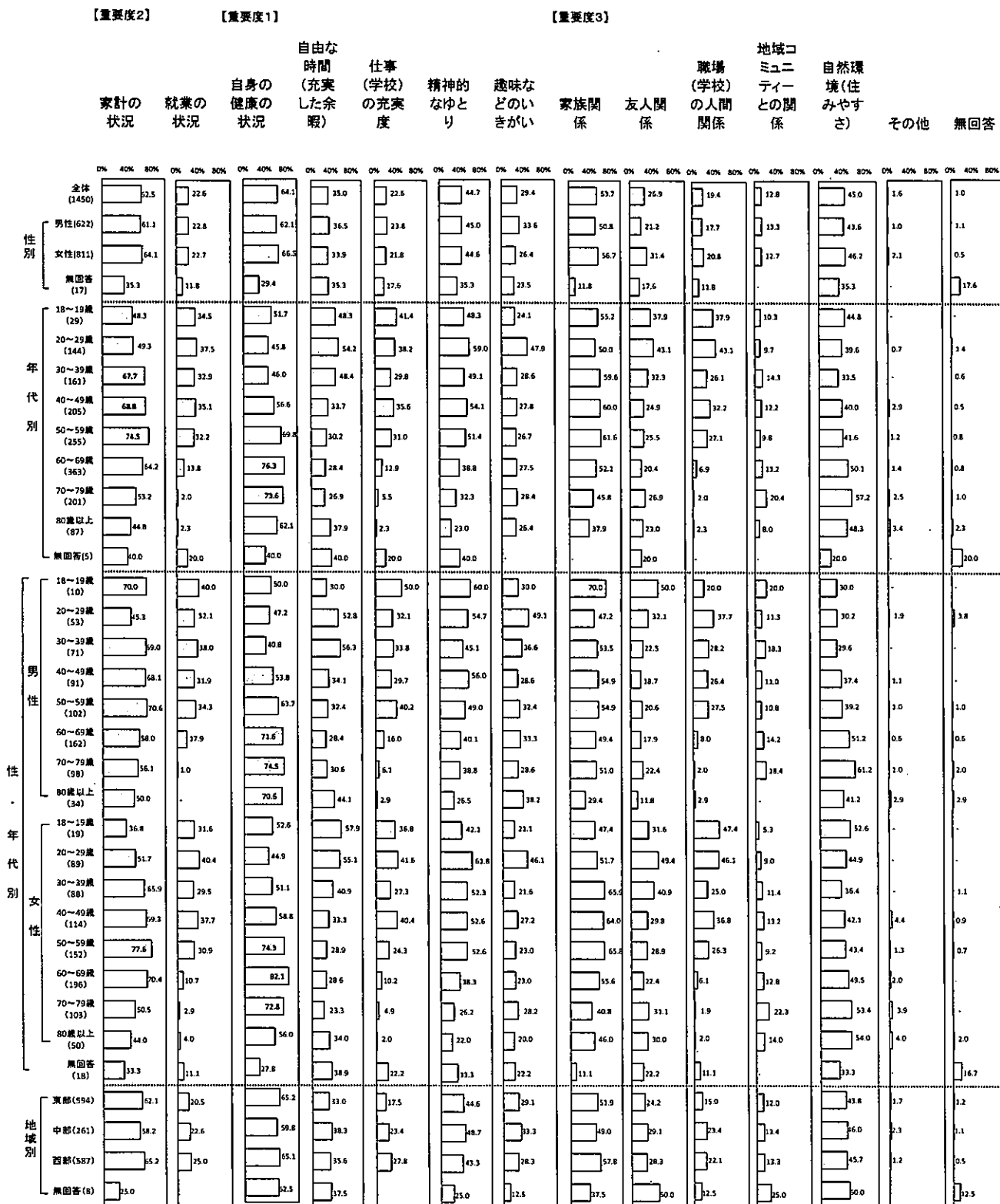


図 49 「幸福度」の判断で重視すること



県民の多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問7 男性の育児参加を促進するために、行政がとるべき必要な施策は何だと思いますか。

○大人になって仕事をするようになってから促すのではなく、子どもの頃からそれが当然だという考えを持つような教育があれば良いと思う。 ◆(18～19歳 女性 鳥取市)

問8 鳥取県内は男性の育児休業取得率は3%未満です。男性の育児休業取得が進まない要因は何だと思いますか。

○共働きであれば、男女とも子育ての苦勞・工夫すべき。親のそのまた親世代の活用・応援をしては？じいちゃん・ばあちゃんの出る幕！！そして保育士の負担軽減をする。 ◆(60～69歳 女性 鳥取市)

○経営者、上司等の理解と言うより、女性社員も何で男性が取るの？と言う意識もある。周りの人に気を使って取らないというもある。 ◆(30～39歳 男性 米子市)

○人手不足のため、会社として長期間社員が離脱することは許容でない。 ◆(30～39歳 男性 米子市)

問12-1(2) 介護をするにあたり、介護をした方の仕事への影響を教えてください。

○農業をしていたので量(面積)を減らした ◆(60～69歳 女性 米子市)

○自営業だったので、あてはまらない。介護していたのは母だったが、仕事と介護と家事と日々辛そうだった。自営業だと有給や休業、転職や勤務時間の変更等難しいと思うので、そういう人たちへの支援も何かあれば良いかもしれない。 ◆(20～29歳 女性 鳥取市)

問13 あなたの家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいこと(現在、不十分だと思うもの)をお選びください。介護の経験がある場合はその経験から、介護の経験が無い場合は見聞きした範囲でお答えください。

○安価で安心して利用できる施設があること。自営業者や農業者は働く時間を削ると即収入がなくなる。自営業者は勤めていないから介護しやすい訳ではない。逆に支援が少ないと感じる。 ◆(50～59歳 女性 倉吉市)

○市内はサービスが充実しているが、田舎に住んでいる人はサービスが受けられない事が多い。よって孤立化している。町内でもド田舎と言われる集落にいとサービスが限られる。 ◆(40～49歳 女性 米子市)

○行政として、介護施設で介護を行う場合、それなりの費用が掛かるのだが、現行では在宅介護する場合は費用は自己負担が殆どである。バランスのとれた施策(助成)を考えてほしい。 ◆(80歳以上 男性 倉吉市)

問14 鳥取県における希望出生率(1.95)を実現するために、次のどの項目を今後強化していくべきだと思いますか。

○正規雇用の拡充と賃金の上昇 ◆(60～69歳 男性 米子市)

○男女共同参画により、職場においても女性は生きがいを感じ、その反面、老後の資金の不安ももっている。出生率は個人の考えの問題ではなく、核家族化、教育費の増大等、社会的な背景がとても大きいと思われる。だからこそ社会的援助がもっと拡大されるべき。医療費530円を無料にする、児童手当の増額、受給期間延長、保育時間延長、諸学校授業料減額、育児手伝い事業(有償可) ◆(40～49歳 女性 鳥取市)



○希望出生率の実現には子育て支援以前にまず「子供を産める支援」が必要だと思います。子供を産みたくても産めなかった人はたくさんいます。不妊治療にもたくさん費用が必要です。不妊治療中に行政の人や病院の医師の心無い言葉で治療をやめる人もいます。子育て支援も大事ですが、出生率を上げる近道は治療の費用支援と心のケアサポートが特に大事だと思います。 ◆(40～49歳 女性 米子市)

問15 若い世代の未婚化、晩婚化傾向に歯止めをかけるため、行政で取り組むべきと思われる施策はどれだと思いますか。

○若年者のベンチャービジネスに対する公的投資制度。例えば、10年程度の償還免除の無利子融資や県が主催するファンド(クラウドファンディング)など。 ◆(50～59歳 男性 鳥取市)

○鳥取東部の経済状況の改善。男性のワークライフバランスの改善(企業など) ◆(30～39歳 男性 鳥取市)

○行政が取り組む必要はない。個人の問題である。 ◆(60～69歳 女性 鳥取市)

問18 あなたがもっと「幸福」となるために、鳥取県に今後期待することがあれば自由にお書きください。

○若者が県内に残りたいと思える環境づくり ◆(40～49歳 男性 米子市)

○とにかく若者が余暇に”やることがない”。遊び場。高齢者、子供に対する手当でだけではムリ。若者が閉塞感を覚え、充実感がないのであれば、当然有能な人材は流出する。 ◆(20～29歳 男性 米子市)

○賃金の引き上げ、最低賃金も安すぎる。シングルマザーが住みやすくしてほしい(経済面など)。介護を要する人へのサービス向上、福祉の充実。 ◆(30～39歳 女性 鳥取市)

○健康寿命を延ばすための取り組み(障害学習、生涯スポーツの更なる取り組み)(介護期間が短くなる)芸術、文化活動の振興。観光地の環境整備。 ◆(60～69歳 男性 米子市)

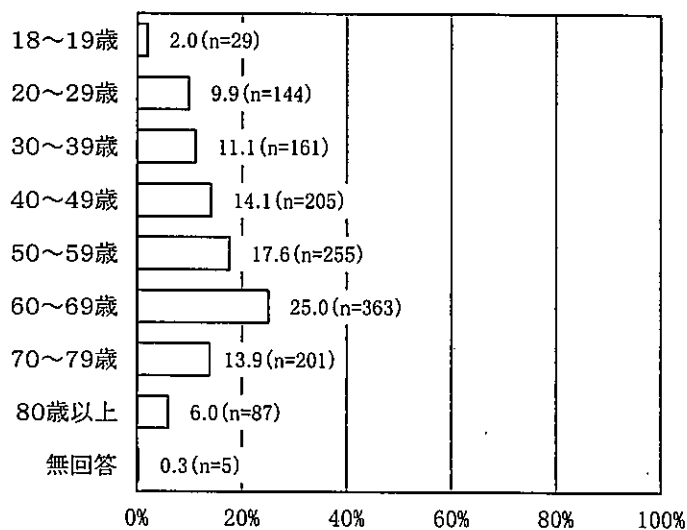
○文化や街づくりを考えてほしい。個人の趣味、考えだけで家を建てたり、ビルを壊したりするのではなく、美観地区を作り、街の景観は歴史ある街並みを目指してほしい。 ◆(30～39歳 男性 米子市)

○若い人がもっと暮らしやすい環境が必要。正社員の仕事が多くあれば、結婚にも希望が持てるし、子育てにも不安がなくなる。行政がどうだからという訳ではないと思うが、仕事がパートばかりで若い人が定着しない。 ◆(60～69歳 女性 倉吉市)

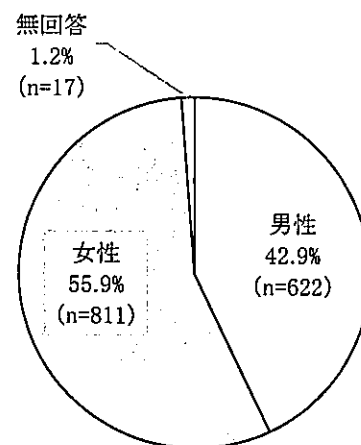
## 【回答者の属性】

### IV. 回答者の情報

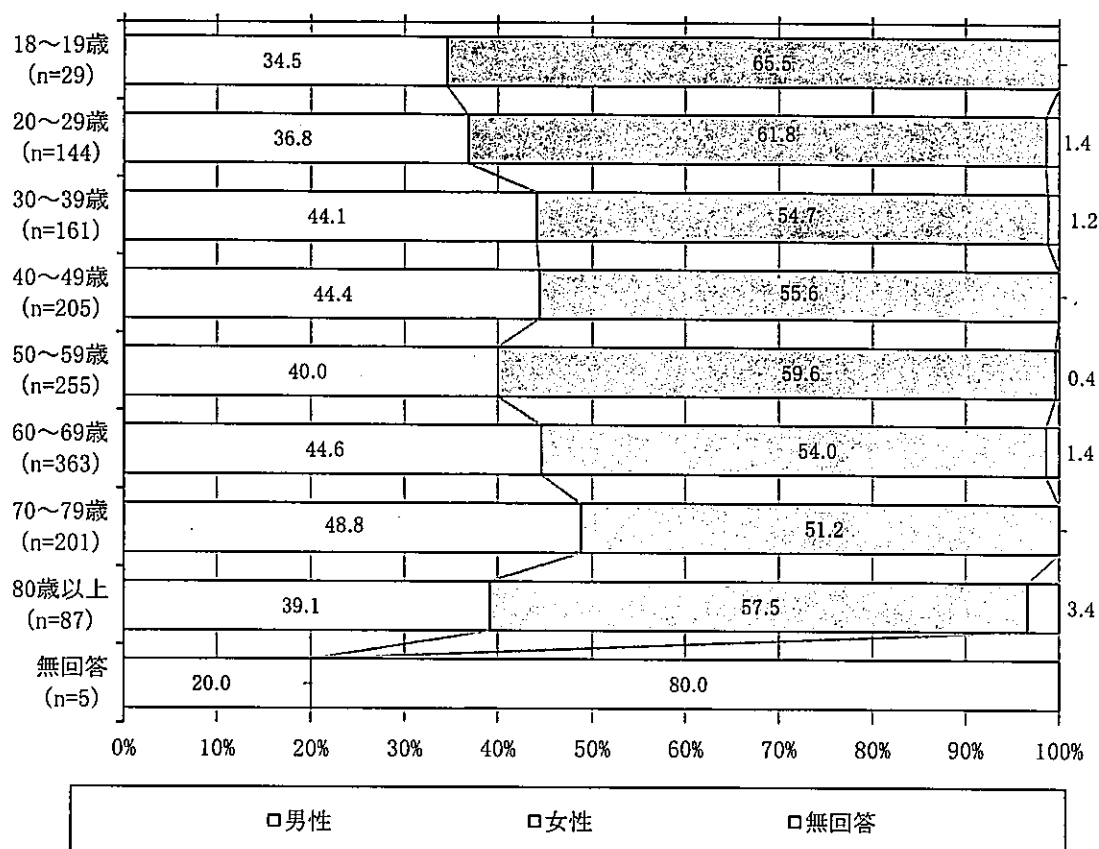
(1) 年代 (問19)



(2) 性別 (問20)



(3) 性別 × 年代



〈市町村別調査対象者数〉

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	75,460	83,076	158,536	467	522	989
	岩美町	4,780	5,395	10,175	30	33	63
	八頭町	7,201	7,859	15,060	44	50	94
	若桜町	1,442	1,631	3,073	9	10	19
	智頭町	3,018	3,432	6,450	19	22	41
	(小計)	91,901	101,393	193,294	569	637	1,206
中 部 地 区	倉吉市	18,852	21,732	40,584	120	133	253
	湯梨浜町	6,736	7,468	14,204	42	46	88
	三朝町	2,671	3,025	5,696	17	19	36
	北栄町	6,108	6,778	12,886	38	42	80
	琴浦町	7,116	8,026	15,142	45	50	95
	(小計)	41,483	47,029	88,512	262	290	552
西 部 地 区	米子市	58,017	65,408	123,425	363	406	769
	境港市	13,942	15,186	29,128	86	96	182
	南部町	4,447	5,001	9,448	28	31	59
	伯耆町	4,531	5,043	9,574	28	32	60
	日吉津村	1,351	1,538	2,889	9	9	18
	大山町	6,871	7,508	14,379	43	47	90
	日南町	2,050	2,371	4,421	13	15	28
	日野町	1,382	1,597	2,979	9	10	19
	江府町	1,284	1,485	2,769	8	9	17
	(小計)	93,875	105,137	199,012	587	655	1,242
合 計		227,259	253,559	480,818	1,418	1,582	3,000

<調査対象者の特性>

【性別】

区分	件数	割合
男性	622	42.9
女性	811	55.9
無回答	17	1.2
計	1450	100

【年代】

区分	件数	割合
18～19歳	29	2.0
20～29歳	144	9.9
30～39歳	161	11.1
40～49歳	205	14.1
50～59歳	255	17.6
60～69歳	363	25.0
70～79歳	201	13.9
80歳以上	87	6.0
無回答	5	0.3
計	1450	100

【職業】

区分	件数	割合
会社員 (公務員含む)	531	36.6
自営業 (家族従事者も含む)	152	10.5
パート アルバイト	206	14.2
学生	47	3.2
専業主婦 (主夫)	143	9.9
無職	359	24.8
無回答	12	0.8
計	1450	100

【住まい】

区分	件数	割合
鳥取市	492	33.9
米子市	360	24.8
倉吉市	113	7.8
境港市	86	5.9
岩美郡	28	1.9
八頭郡	47	3.2
若桜町	7	0.5
智頭町	20	1.4
湯梨浜町	51	3.5
三朝町	16	1.1
北栄町	38	2.6
琴浦町	43	3.0
南部町	26	1.8
伯耆町	28	1.9
日吉津村	9	0.6
大山町	39	2.7
日南町	15	1.0
日野町	12	0.8
江府町	12	0.8
無回答	8	0.6
計	1450	100

# 【 資 料 】

# 鳥取県の政策に関する県民意識調査

## 御協力をお願い

日頃より県政の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

鳥取県では、人口減少・少子高齢化の現在の状況下でも、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、将来にわたって発展していくために、地方創生総合戦略「鳥取県元気づくり総合戦略」を策定するなどして、鳥取県の元気づくりを進めています。

この調査は、「鳥取県元気づくり総合戦略」に掲げる施策をはじめとした鳥取県政全般について、皆さんの関心や御意向・要望等を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活かすため、無作為で選ばせていただいた県内在住の18歳以上の方3,000人を対象に実施をするものです。

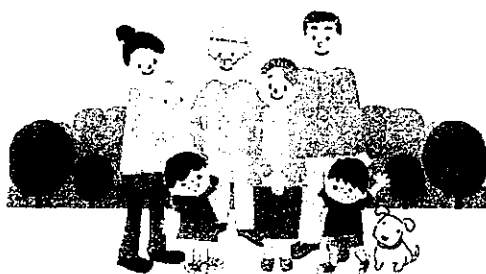
お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。

### <御記入にあたってのお願い>

- 封筒のあて名の方、御本人がお答えください。  
(この調査は無記名ですので、お名前を記入していただく必要はありません。)
- 回答の仕方は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、言葉や数字で必要なことから書き込んでいただくものがあります。選択肢のうち「その他」に○をされた方は( )に具体的にお書きください。
- 調査の回答によって個人が特定されることや、お答えいただいた情報を調査目的以外に使用することは一切ありませんので、あなたの素直なお気持ちやお考えを御記入ください。
- 御記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて平成29年8月4日(金)までに郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)
- この調査について御不明な点などがありましたら、問合せ先まで御連絡ください。

#### 【問合せ先】

鳥取県 元気づくり総本部 県民課  
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220  
電話：0857-26-7848  
ファクシミリ：0857-26-8112  
電子メール：kenmin@pref.tottori.jp



## I 鳥取県の住みやすさについて

問1) あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

- |             |           |                  |
|-------------|-----------|------------------|
| 1 感じている     | 2 少し感じている | 3 普通 (どちらともいえない) |
| 4 あまり感じていない | 5 感じていない  |                  |

問2) あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

- |                 |                 |                  |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 1 とても住みやすい      | 2 どちらかというに住みやすい | 3 普通 (どちらともいえない) |
| 4 どちらかというに住みにくい | 5 住みにくい         |                  |

問3) あなたが今、鳥取県内に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか、項目ごとに表中のいずれかに〇を記入してください。

設 問	選 択		
	そう 思う	どちらとも 言えない	そう 思わない
(1) 豊かな自然環境に恵まれている			
(2) 住んでいる住民(県民)が親切である			
(3) 地域での人と人とのつながりがある			
(4) 生活するにあたり、公共交通機関が整っている			
(5) 地域の防災組織が整っている			
(6) 地域の治安が良いと感じている			
(7) 子育て支援が充実している			
(8) 医療や介護の体制が充実している			
(9) 子どもの教育環境が充実している			
(10) ストレスなく日常生活を送ることができている			

## II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

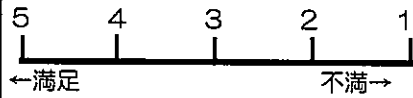
問4) 次ページより、鳥取県が実施している施策等について、政策分野別のあなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に〇をしてください。) また、テーマごとに今後の優先度(重要度)が高いと思われる項目について3つずつお選びください。

### 【評価の基準の参考】

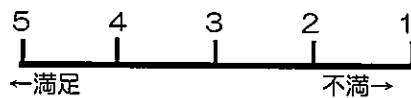
- 5・・・満足(取組は十分である、よくやっている)
- 4・・・やや満足
- 3・・・普通(どちらともいえない)
- 2・・・やや不満
- 1・・・不満(取組は不十分である、努力する必要がある)

### 問 4-1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

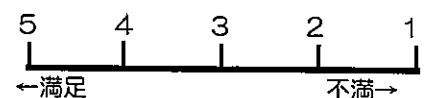
【1-1】観光資源を活用した観光客誘客の取組（観光地PR・観光地の受け入れ環境・おもてなし体制の整備など）



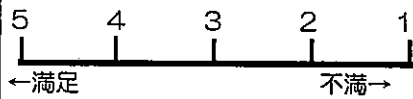
【1-2】外国人観光客が訪れやすい観光地づくり（海外定期航路・航空路の安定運行・観光地の外国語看板設置など）



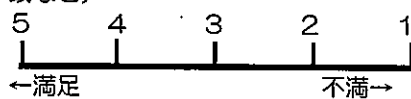
【1-3】鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進（山陰、関西、中国地方など県域を越えた観光連携など）



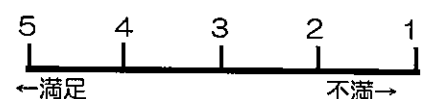
【1-4】県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組（森林保全、ラムサールやジオパークなどの利活用など）



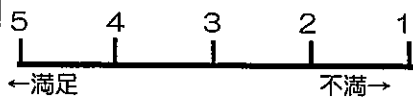
【1-5】次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減の取組（太陽光の活用やノーレジ袋運動やリサイクルの実践など）



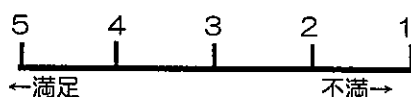
【1-6】様々な媒体を活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信など情報発信の取組



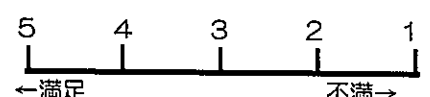
【1-7】農林水産・畜産業の担い手育成への取組（後継者育成、新規就業者への技術研修・経営支援など）



【1-8】農業の活力増進に関する取組（地産地消の推進、就農者所得増大、農業ビジネス創出など）



【1-9】農林水産物の販売戦略（農林水産品のブランド化や加工品等6次産業化、国内外への販路の拡大など）

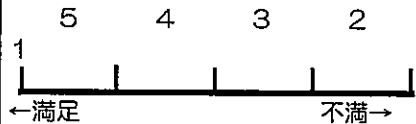


問 4-1-1)このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

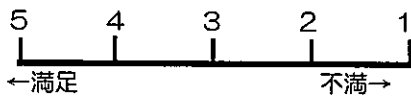
【1-   】 【1-   】 【1-   】

### 問 4-2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

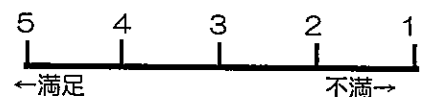
【2-1】若者の出会い、結婚応援の取組（企業・団体と協働した若者の出会いの場づくり、結婚応援事業の展開など）



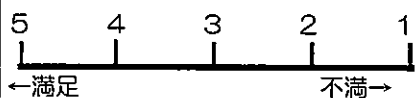
【2-2】安心して出産や子育てができる環境づくり（経済的負担軽減や保育所待機児童ゼロなど多様な子育て支援の充実など）



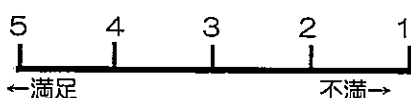
【2-3】地域社会で子どもを育て、世代を支える取組（子育てサークル育成、三世帯同居支援など）



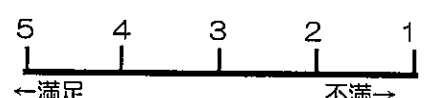
【2-4】ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組（学校での郷土愛を育む教育、公民館活動など地域における社会教育活動など）



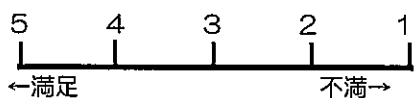
【2-5】子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組（海外留学、資格取得支援、貧困の連鎖を断ち切る学習支援など）



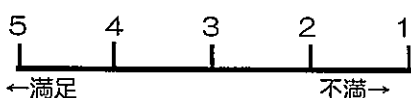
【2-6】地域でリーダーとなり活躍する人材（財）育成に係る取組（キャリア教育、インターンシップ支援など）



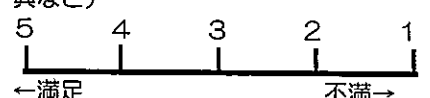
【2-7】中山間地域の安心と元気をつくり出す取組（見守り支援、買い物・移動など生活支援サービスの充実など）



【2-8】女性が活躍できる社会に向けた取組（リーダー育成、出産育児介護等による休職・離職後の復職支援など）



【2-9】高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組（技能を活かした活躍の場づくり、芸術文化・スポーツ振興など）



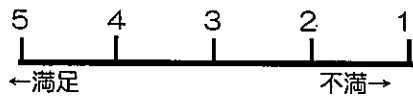
問 4-2-1)このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

【2-   】 【2-   】 【2-   】

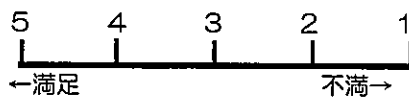


### 問 4-3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

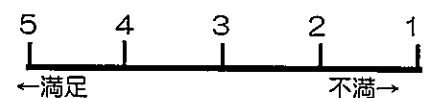
【3-1】住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組（若者定着、県外進学大学生へのUターン就職情報発信など）



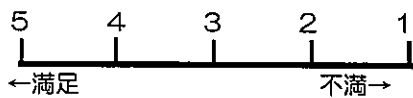
【3-2】暮らしやすく、まちを元気にしていく取組（駅前や商店街の活性化、コミュニティ拠点等賑わい創出など）



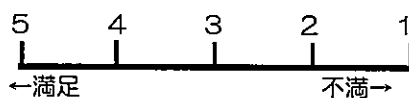
【3-3】文化やアートを使った地域づくりへの取組（文化芸術活動を支える人材育成、文化芸術鑑賞機会の提供など）



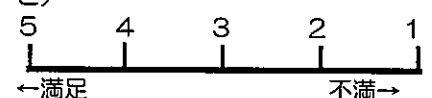
【3-4】働く場を確保するための取組（企業誘致、成長産業の立地、正規雇用拡大への取組など）



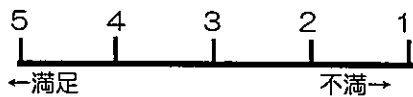
【3-5】新たな産業を生み出すための取組（起業創業支援、若者の創業促進への支援など）



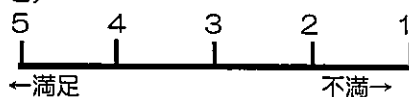
【3-6】誰もが能力を発揮できる雇用の実現（就業支援、障がい者雇用、高齢者雇用、ワークライフバランスの推進など）



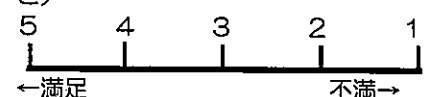
【3-7】安全・快適な通信環境の整備（超高速情報通信網整備、超高速モバイル通信電波（4G）のエリア拡大など）



【3-8】他地域からの移住（転入）促進の取組（移住につながる情報発信、空き家マッチング、相談サポートの充実など）



【3-9】スポーツの盛んな地域づくりへの取組（生涯スポーツ推進や競技団体の合宿誘致、競技力向上に向けた取組など）

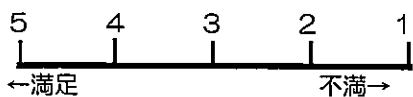


問 4-3-1) このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

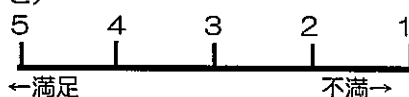
【3-   】 【3-   】 【3-   】

### 問 4-4 県政のさまざまな取組

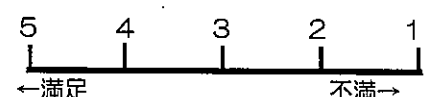
【4-1】地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組（防犯対策、交通安全対策など）



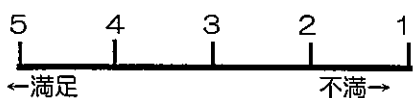
【4-2】災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組（河川治山の災害防除、自主防災組織強化、避難所確保など）



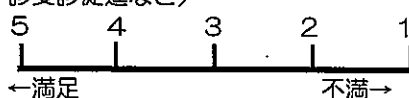
【4-3】子どもの学力向上のための取組（基礎学力向上、教員の指導力強化など）



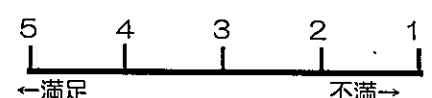
【4-4】広聴制度を充実させるための取組（行政情報の透明性や公開度、公文書開示制度、意見募集手法の拡充など）



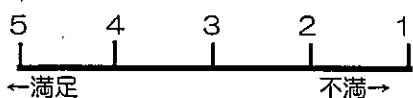
【4-5】健康を守り、医療体制を強化する取組（地域医療の確保、介護予防、介護・医療の連携、運動習慣の定着、検診受診促進など）



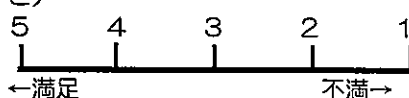
【4-6】道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組（県道・河川整備や維持管理など）



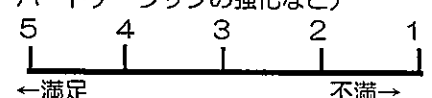
【4-7】県内交通の高速化への取組（山陰新幹線整備、高速道路等の4車線化など）



【4-8】人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現（学校、地域における人権学習の拡充、新たな人権課題の啓発など）



【4-9】県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組（県民活動支援、団体・NPO・企業など多様な主体とのパートナーシップの強化など）



問 4-4-1) このうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（項目の数字をお書きください）

【4-   】 【4-   】 【4-   】

### Ⅲ 重点施策への関心・認識

鳥取県が重点的に施策を展開している事業についての認識や意識をお聞きしますので、設問別に該当する選択肢に○をお願いします。

#### <子育て施策（男性の育児参加）について>

問5)「男性の育児参加の推進」などを目的とした施策やフレーズのうち、あなたがお存知のもの・聞いたことのあるものをお選びください。(○はいくつでも)

- |   |                        |   |                          |   |      |   |           |
|---|------------------------|---|--------------------------|---|------|---|-----------|
| 1 | イクメン                   | 2 | イクボス                     | 3 | カジメン | 4 | パパママ育休プラス |
| 5 | とっとりイクメンプロジェクト(鳥取県施策)  | 6 | 男性の子育てしやすい企業支援奨励金(鳥取県施策) |   |      |   |           |
| 7 | お父さんのための子育て応援手帳(鳥取県施策) |   |                          |   |      |   |           |

問6) あなたは、男性が育児に積極的に参加していくことについて、どう思いますか。(○は1つ)

- |   |                    |   |                    |   |           |
|---|--------------------|---|--------------------|---|-----------|
| 1 | とても良いことだと思う        | 2 | 良いことだと思う           | 3 | どちらともいえない |
| 4 | どちらかといえばあまり良くないと思う | 5 | 良くないと思う(必要性がないと思う) | 6 | わからない     |
- ※選択理由をお書きください

[ ]

問7) 男性の育児参加を促進するために、行政がとるべき必要な施策は何だと思えますか。(○はいくつでも)

- |   |   |   |                       |
|---|---|---|-----------------------|
| 1 | 男性対象の育児に関する交流会開催                              | 2 | 男性対象の育児手法研修(講習)会開催    |
| 3 | 企業(雇用主)対象のイクボス研修会                             | 4 | 男性の育児参加休暇(育児休暇)取得の義務化 |
| 5 | ワークライフバランスを実現できる労働環境整備の手助け                    |   |                       |
| 6 | 男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての企業(雇用主)に対する経済的支援(補助金制度) |   |                       |
| 7 | 男性の育児参加休暇(育児休業)取得に関しての家庭に対する経済的支援(補助金制度)      |   |                       |
| 8 | 男性育児促進のための社会的機運の盛り上げ(イベントの開催、広報キャンペーンの実施等)    |   |                       |
| 9 | その他   |   |                       |

[ ]

問8) 鳥取県内の男性の育児休業取得率は3%未満です。男性の育児休業取得が進まない要因は何だと思えますか。(○は3つまで)

- |   |  |   |                     |
|---|--|---|---------------------|
| 1 | 男性が長時間労働等により育児に従事する時間が確保できないため         |   |                     |
| 2 | 子育て=女性の役割という意識があるため                    |   |                     |
| 3 | 経営者、上司等の理解不足により、育児参加休暇(育児休業)の取得がしづらいため |   |                     |
| 4 | 男性が育児に参加するメリットが社会的に浸透していないため           |   |                     |
| 5 | 所得が下がるなど経済的に負担となるため                    | 6 | 自身の昇級や昇格に影響があると思うため |
| 7 | その他                                    |   |                     |

[ ]

<女性の活躍推進について>

問9) あなたは、次の言葉をご存知ですか。それぞれひとつずつに○をしてください。

- |                 |       |          |      |
|-----------------|-------|----------|------|
| 1) ワーク・ライフ・バランス | 知っている | 聞いたことがある | 知らない |
| 2) 男女共同参画社会     | 知っている | 聞いたことがある | 知らない |

問10) 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか、項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらか と 言えば そう思う	どちらか と 言えば そう 思わない	そう 思わない	分 か ら な い
(1) 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
(2) 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
(3) 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
(4) 学校教育の場において男女差は無いと思う					
(5) 就職の機会に男女差は無いと思う					
(6) 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
(7) 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
(8) 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

問11) 女性が結婚や出産後も継続して仕事を続けるために行政の果たす役割はなんだと思いますか。(○は3つまで)(行政としてすべきことがないと思われる方は「7」のみをお選びください)

- |                                       |                   |
|---------------------------------------|-------------------|
| 1 男性の育児参加や育児休業・休暇取得の促進                | 2 育児休業中の代替職員の確保支援 |
| 3 短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など多様な働き方の導入促進 |                   |
| 4 保育園や幼稚園などの子育て施設や学童保育などの子ども預かり施設の充実  |                   |
| 5 女性が働きやすく、活躍している企業などを認証し広報すること       |                   |
| 6 企業の管理職などへの意識改革のための研修会等の実施           | 7 行政としてすべきことはない   |

問12) あなたもしくはあなたの家族のうち、家族内での介護(要介護者への介護や身の回りの世話など)の経験がありますか。ある場合は、点線内についても回答をお願いします。

<p>1 ある (「1 ある」と回答した方は、次の点線内の設問にお答えください。)</p> <p>1) その際に、実際に介護をしたのは要介護者からみて主にどなたでしたか。(○はひとつ)</p> <p>1 妻            2 夫            3 息子            4 娘            5 兄弟            6 姉妹</p> <p>7 息子の嫁      8 娘の夫      9 孫            10 父親      11 母親</p> <p>12 その他(具体的な続柄: _____)</p> <p>2) 介護をするにあたり、介護をした方の仕事への影響を教えてください。(○はいくつでも)</p> <p>1 有給休暇を取得した      2 休業した      3 退職した      4 転職した</p> <p>5 勤務時間の変更をした      6 勤務形態(非正規労働等へ転換など)を変更した</p> <p>7 勤務地の変更(転勤)をした      8 もともと仕事をしていなかった</p> <p>9 その他</p> <p>[ _____ ]</p>
2 ない

問13) あなたは、あなたの家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいこと（現在不十分だと思うもの）をお選びください。介護の経験がある場合はその経験から、介護の経験が無い場合は見聞きした範囲でお答えください。（〇は3つまで）（特に無い場合は「7」のみをお選びください）

1 介護サービスに係る情報提供・相談支援体制の充実	
2 要介護者等それぞれにあわせた各種サービスの増加	
3 働く場における介護休業・休暇制度の整備支援	4 休暇を取得しやすい職場環境づくりの推進
5 短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など働く場における多様な働き方の導入促進	
6 介護休業・休暇取得に関しての企業（雇用主）に対する経済支援	7 してほしいことは特に無い
8 その他	
[ ]	

<出生率について>

問14) 鳥取県における希望出生率（1.95）を実現するために、次のどの項目を今後強化していくべきだと思いますか。あなたが重要だと思う項目を次の中からお選びください。（〇は3つまで）  
（※希望出生率とは、結婚して子どもを産みたいと言う人の希望が叶えられた場合の出生率）

1 不妊治療にかかる費用の経済的支援	
2 子どもを安心して預けられる体制の整備（保育所・認定子ども園などの増加）	
3 乳幼児期の子どもを在宅で保育する者への支援	
4 保育料の減免など、子育て世帯への経済的支援	5 子どもが安全安心に遊べる場所の増加
6 配偶者や祖父母などが育児に積極的に関わることのできる環境づくり	
7 出産・育児で仕事を離れた方がスムーズに社会復帰できる環境や、男女ともに子育てしながら安心して働くことのできる職場環境の整備	
8 出会いの場・結婚への支援体制の強化	9 気軽に子育ての悩みを相談できる体制の整備
10 その他	
[ ]	

問15) 若い世代の未婚化、晩婚化傾向に歯止めをかけるため、行政で取り組むべきと思われる施策はどれだと思いますか。（〇は3つまで）

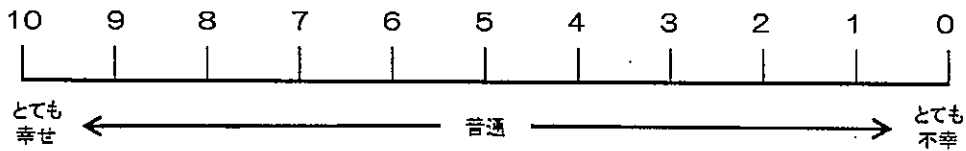
1 出会いの機会の創出や結婚に関する相談受付などによる若い世代の結婚サポート	
2 鳥取の充実した子育て支援策や人生収支（ライフコスト）からみた鳥取で暮らすメリットなどの情報を県内外に発信	
3 県外からの若年者（若年層の移住者）の呼び込み	4 結婚費用の助成
5 若年層でも結婚子育てのできる環境をアピールする取組	6 若い子育て夫婦に関する情報発信
7 若い夫婦向けの、家財や土地、職などの斡旋や補助	
8 その他	
[ ]	

<あなたの幸福度について>

～最後に、あなたの幸福度について教えてください～

問16) 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

10を「とても幸せ」、5を「普通」、0を「とても不幸」として、次の数字1つに○をしてください。



問17) あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することはなんですか。(○はいくつでも)

- |                |                |                 |                 |
|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 1 家計の状況        | 2 就業の状況        | 3 自身の健康の状況      | 4 自由な時間(充実した余暇) |
| 5 仕事(学校)の充実度   | 6 精神的なゆとり      | 7 趣味などのいきがい     | 8 家族関係          |
| 9 友人関係         | 10 職場(学校)の人間関係 | 11 地域コミュニティとの関係 |                 |
| 12 自然環境(住みやすさ) | 13 その他 ( )     |                 |                 |

問18) あなたがもっと「幸福」となるために、鳥取県に今後期待することがあれば自由にお書きください。

IV 回答者の情報

あなたの年代や性別(属性)などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

- 問19) 年代
- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| (1) 18~19歳 | (2) 20~29歳 | (3) 30~39歳 | (4) 40~49歳 |
| (5) 50~59歳 | (6) 60~69歳 | (7) 70~79歳 | (8) 80歳以上  |

- 問20) 性別
- |        |        |
|--------|--------|
| (1) 男性 | (2) 女性 |
|--------|--------|

問21) お住まいの住所

- |          |          |          |          |           |
|----------|----------|----------|----------|-----------|
| (1) 鳥取市  | (2) 米子市  | (3) 倉吉市  | (4) 境港市  | (5) 岩美町   |
| (6) 八頭町  | (7) 若桜町  | (8) 智頭町  | (9) 湯梨浜町 | (10) 三朝町  |
| (11) 北栄町 | (12) 琴浦町 | (13) 南部町 | (14) 伯耆町 | (15) 日吉津村 |
| (16) 大山町 | (17) 日南町 | (18) 日野町 | (19) 江府町 |           |

問22) 職業

- |                |                   |               |
|----------------|-------------------|---------------|
| (1) 会社員(公務員含む) | (2) 自営業(家族従業者も含む) | (3) パート・アルバイト |
| (4) 学生         | (5) 専業主婦(主夫)      | (6) 無職        |

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。

